京城日報

十一日夕刊

◎支那政府提議承認

支那政府は臨時閣議を開き協商國側よりの提議を承認せり（北京電報）

◎獨亞銀行支配人逮捕

獨亞銀行支配人エナ、コルデスは同行所屬書類隱匿の廉にて中法實業銀行支配人王克明氏の爲に起訴せられ逮捕せられたり（北京特電）

◎中立諸國起たん

米國禁輸の反響―其嚮背如何

和蘭、丁抹、瑞典、諾威等獨逸に隣接せる諸國は從來米國より軍需品を輸入し其の一部を獨逸に供して交換的に獨逸より鐵、石炭の供給を受け居りしが今回米國の輸出禁止により從來の如く獨逸に軍需品を供給すること不可能となり隨て獨逸よりの鐵、石炭の供給を受くること能はざる窮境に陷りたる爲め和蘭の如きは今年一杯にて石炭の缺乏を來たす如き場合に瀕し是等中立諸國は其の存在上斷乎たる態度を決し戰爭の渦中に投ずるの已むを得ざるに至るも近きにあるべしと觀測せらる（倫敦電報）

◎米國の回答と英國

英國は米國に向つて羅馬法王の平和提議に對する大統領ウイルソン氏の回答は其の主意に於て英國の回答と同一なりと通知したり（華盛頓電報）

◎ケ內閣明渡し要求

露都に戒嚴令布かる

露國コロニロフ將軍はリウオフ公をしてケレンスキー首相に向ひ內閣讓渡しを要求せしめたるため露國政府はケレンボーフ將軍を總司令官に任命し是と同時に露都に戒嚴令を布けり（露都電報）

◎獨逸平和條件發表か

國內の人氣沸騰す

コッペンハーゲン來電　獨逸宰相ミハイリス氏は獨逸は近々平和條件を發表し得べしと宣言し獨逸國內に非常なる感動を惹起したり（倫敦電報）

◎亞爾然丁國民の激昂

獨逸公使の秘電公表

ヴエノスアイレス來電、米國公使はヴエノスアイレス駐在獨逸代理公使ルスクスブルグ伯より獨逸政府に對し其の痕跡をも止めざる方針にて亞爾然丁の船舶を擊沈すべき旨通告したる電報に關し所に確證を握り居れり此の事件は到る處に於て非常なる激昂を惹起し排獨示威運動勃發の兆あり爲めに警察は警戒手段を執りつゝあり（倫敦電報）

◎波蘭王國建設計畫

墺國は露領波蘭を獨逸と共に分割併合し墺國帝室の出を以て王位に即かしむべく計畫し居れりと（紐育電報）

◎戰時保險局官制發布

十一日の官報にて戰時保險局官制發布せられたり其の內容は從來戰時海上保險補償法にては政府は全然保險契約の表面に立たざりしに反し保險局は出稅に契約當事者として保險事務の現業を取扱ふものにして、戰時保險局は農商務大臣の管理に屬し業務課及び經理課を置き、業務課にては、再保險の成立、消滅、保險料の査定等を司り、經理課にては會計、保險料の收納、保險金の査定支拂ひ等を司るものなり而して職員は局長（勅任）以下事務官、技師、屬、技手等二十數名なり（東京特電）

◎正金銀行總會

正金銀行にては十日午後二時定期株主總會を開き當季一割二分の配當を可決したり（東京特電）

◎兵器製造所の豫定計畫

準備先發員來鮮す

朝鮮に設置せらるべき朝鮮兵器製造所の創業施設準備の先發員として東京砲兵工廠朝鮮兵器製造所附砲兵大尉酒井昌一氏は製圖技手五名技術監督員六名を引率十一日午前釜山上陸、直に北行列車に向ひたるが一行中酒井大尉のみは同夜九時龍山に下車十二日軍司令部を敬訪諸般の打合せを爲し十三日午前平壤着の豫定なるが朝鮮兵器製造所の施設經營に關し同大尉の談に依れば「同製造所の建築設計は已に完成し居れるを以て該敷地十六萬餘坪の測量製圖の終了次第

▲建築工事に取懸る筈にて工事の請負は東京清水組に決定し居れり大體の建築は廳舍工場官舍及びその他の附屬建物は一切鐵骨煉瓦造にして各種建物の棟數は二百棟此總建坪三千坪工事費總額は

▲九十萬圓なり該工事に從事すべき大工等は悉々の一行に先ちて已に平壤に入込み居れり建築工事は大正七年中に全部竣成の豫定なる製造所に据ゑ付くべき諸機械類は何れも東京砲兵工廠又は民間の製造業者によつて造られたる日本製のものにて之れも來年中には其の一部分の運轉を爲し得るに至るべく從業の職工は三千人成る可く朝鮮人を多數使用する筈なり、製造所の開設は三年計畫の如く一般に傳へられ居れるも事實は

▲二年計畫にして事業費は四百萬圓製造兵器は最初は小銃、各部隊の馬具及び砲彈を製造することゝなり居れるも追々兵器一切の製造を爲すに至るべし（釜山特電）

◎軍司令官消息

松川軍司令官一行は十一日午前六時四十分大邱驛發列車にて馬山鎭海に向ひ出發したり（大邱特電）

◎近藤所長發期

十一日朝著朝せる朝鮮兵器製造所附酒井砲兵大尉の談によれば同所長砲兵中佐近藤兵三郎氏の東京出發赴任期は尙ほ一週間後なるべしと

◎宗演師釜山發

鎌倉圓覺寺管長釋宗演師は栃木縣鬼怒川龍光寺住職大野宗達師三條公嗣子厚麿氏等と共に十一日午前十時三十分釜山發列車にて大邱に向ひたるが停車場には官民有志多數の見送りありて盛んなりし尙ほ同師一行は豫定の通り十二日夜南大門驛著の筈なり（釜山特電）

◎福岡視察團來鮮

福岡縣教育會主催の滿鮮教育視察團（團長福岡縣師範學校長根岸福彌氏以下三十九名）一行は連絡船櫻丸にて十一日朝釜山著、午前十時三十分發列車にて京城へ向ひたり（釜山特電）

◎二百二十日

▲全州　郡來曇天、風の威猶く、平年より小雨となりしも稻作には差したる影響なし（全州特電）

▲釜山　十一日午前六時曇天雨ありしも直ちに霽れ朝來快晴となり南の微風吹き氣溫華氏八十八度（釜山特電）

▲馬山　朝來微雨あり後ち歇みたるも晴曇常なく、東南の微風、溫度華氏八十五度、附近農作は今日の所にては良好の見込なり（馬山特電）

▲大邱　大邱附近は朝來微雨斷續し稍微風ありしも雨も出でしからず而して不穩なりし（大邱特電）

◎釜山地方稻作

釜山地方に於ける稻作は早稻は既に出穗し目下中稻の出穗中なり晩稻は今の所一般に樂觀されつゝあり（釜山特電）

◎總督午餐饗應

長谷川總督は十一日正午官邸に於て東京府會議員一行に對し午餐の饗應をなし總督府側よりは關屋學務局長其他陪席したり

◎土木局出張所新設

朝鮮總督府にては明治道路工事の施行に伴ひ平壤に土木局出張所を設置す可く總督府にては明治四十五年朝鮮總督府訓令第[illegible]號別表を改正し十二日の官報を以て之を公布九月十五日より施行の事となれり

◎管轄區域移動

大正三年朝鮮總督府令第六十二號別表中改正の件は十二日官報を以て發布十五日より施行の事となれり右は京城郵便局の管轄區域中の一部を[illegible]出張所に移轄するの必要を生じたるが爲めなり

◎蒙古產馬購入

總督府にては今回朝鮮產馬改良用種馬として蒙古產馬四十頭を購入することゝなり總督府技師野口次郎三氏之れが買入の爲め近日出發の豫定なり

◎硬質磁器會社許可

資本金一百萬圓を以て輸出向硬質磁器を製造す

豫て其の筋に對し設立許可の申請中なりし朝鮮硬質磁器株式會社は十日附を以て許可せられたり同社は松風嘉定氏外十一名の發起に係るものにして資本金を一百萬圓とし朝鮮産陶土を以て輸出向硬質磁器を製造輸出すると共に一部朝鮮人向き磁器をも製造販賣す可く第一期に二十五萬圓の拂込を爲し之れに依りて從來の[illegible]に工場を設置の筈なり因に同社の株は全部發起人に於て之を引き受け一般よりは募集せず

◎叺の容量一定

四斗俵の利益

米穀檢査規則の改正と共に叺の容量を四斗と定めたるに就き當局者の談に依れば朝鮮の叺は四斗及び五斗の兩樣あるも後者は不便多くして利少く前者の主利なるに如かず其の一二を擧ぐれば五斗俵は重量の關係上叺の耐久力を損ふこと多きのみならず其の取扱ひ不便なる爲め亂俵を生じ易きは一叺七八合少くも二三合の落米を見るも四斗俵は叺の耐久力を減ぜず且つ取扱便利なるより亂俵少し又た內地は近時何地とも四斗俵を使用するこゝとて內地との取引上種々の便あること之れが故に之と同樣の叺を用ゆるを必要とするに至れり反對論者中には五斗叺に比し容積增大の不便を訴へ運賃等に多大の影響ありと說くもの無きにあらざるも五斗と四斗とは叺の枚數に關係なく運賃は總て石數に依るものなれば何等の差異なし叺料は些少增加すべきも之れを以て叺の價格を相當に四斗に減ずれば左まで增加するものにあらず之を五斗より四斗とせば多少の經費を增加するの傾なきにあらざるも之れに因りて生ずる利益は前述の如く大なれば將來叺の改正に當りては本規則の改正を以て適當なる所以なり

◎始政記念葉書

朝鮮總督府始政七周年記念のため遞信局にては記念郵便繪葉書を發行し十月一日より各郵便局及び郵便所に於て發賣すべく之れが圖案は（一）龍山總督官邸（二）開城人參（三）龍頭山の三種なり尙ほ此の發賣に際し京城外全鮮主要郵便局に於て一錢五厘以上の切手に對し記念スタンプを押捺する由

◎松川軍司令官動靜

松川軍司令官は目下南鮮駐箚各部隊巡視中なるが一行は十日大邱各部隊を視察し十一日馬山に向つて出發したるが十二日は鎭海灣要塞備隊を視察する筈

◎立花師團長歸任

立花第十九師團長は十一日午前南大門驛着列車にて入京九月十二日羅南の師團司令部に歸任する筈

◎安達公使訪問

十一日夜南大門驛著列車にて入京せる安達公使は十二日午前十時總督府に長谷川總督を訪問挨拶を爲せり

◎武富書記官出發期

大使館附書記官として赴任の途入京せる武富敏彥氏夫妻は十二日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發す可し

◎代表者訪問

十日夜入京せる鹿兒島縣教育視察團代表者吉原大井兩氏は十一日午前總督府を訪問せり

◎廣瀨經理部長歸任

廣瀨經理部長は本月十一日龍山出發北鮮地方巡視の途に就きたるが既に元山清津羅南地方の檢査を了し且つ咸興各部隊の經理狀況の檢査を終へたれば十二日歸任の豫定なり

◎大塚少佐歸任

軍司令部附大塚陸軍少佐は鎭海要塞の[illegible]及び事務打合せの爲め去る三日以來大邱馬山鎭海地方に出張中の所凡ての用務を濟し十一日夜歸任せり

◎視察團動靜

鹿兒島縣教育會主催鮮滿教育視察團一行三十一名は十日夜南大門驛著汽車にて入京、京城光雲館に投ぜるが十一日は午前中は京城市中を見物し午後四時三十分より西大門俱樂部に於て小河原視學官の朝鮮教育に關する講話を聽けり尙ほ十二日は仁川に赴き十三日は午前高等普通學校等を見學同日午後一時發汽車にて水原に向ふ筈なり

◎福岡教育團日程

十一日夜九時南大門驛著入京すべき福岡縣教育團の京城に於ける日程は左の如し

▲十二日午前九時入京總督府訪問、同九時半女子高等普通學校、同十時商品陳列館、同十一時南大門小學校、同十二時龍山小學校、午後[illegible]京城中學校、同二時[illegible]、同三時[illegible]、同四時[illegible]

▲十三日午前八時出發、同[illegible]、同六時三十分より京城ホテルに於て[illegible]、夜九時四十分發南大門驛にて仁川に向ふ

◎道子僧鎭川行

溫陽溫泉に靜養中なりし道子僧は十日鎭川に赴き、北道鎭川邑に於ける[illegible]院を經て忠北道鎭川に赴けりと通知ありたり

◎紡織工場は仁川が有利とす

奥田貞次郎氏談

東上したる仁川商業會議所會頭奥田貞次郎氏は十日夜歸仁したるが紡織會社問題に付いて曰く

紡織工場敷地としての條件は水利交通氣候勞働者其他等に利便を有せざる可からざるは勿論なるが此點に於て我仁川を見るに工場地として頗る適し居るを以て東京に於ても發起人大部分の意嚮は仁川を適當地として認め居る者の如く余も幾分の自信を得て歸仁する事を得たり工場敷地としては一萬五千坪を選し錘數は二萬錘なるが中一萬錘は內地より一萬錘は米國より輸入する事になりたるも最初十八萬圓の紡績機械が最近に至り四十二萬圓に暴騰したる爲め非常の打擊を蒙りたる者の如し然して

◇宗演老師を迎へて

釋宗演師は滿洲巡錫中の處這回歸途京城に立寄り本社にも寄稿ありたり

（前略）海上は頗る穩かならざりし樣なりしも、老師は極めて御元氣に候。早速萩野氏邸に入り、深更迄山雲海月の情を語らひ申候。朝鮮內に於ける日程は、總て御承認を得候

十三日に京城に入る事も御承諾を得候。宗演老師は、總ての公式を離れ遊中の個人的接待ならば御受けを得候。不宜

近日予想海流支那及近

○明日開帳陣營

○大正六年九月八日曉發鎌倉

○一片閒雲出鎌倉○又○來○東海○向○山○陽○等○峙○入○鄕○○

○秋○雨○蕭○○天○○

◎天候不順と稻作

工場敷地は田邊氏の調査に依りて大體を纏め近に本月末か來月初旬に[illegible]和田、野田、太郎の諸氏渡鮮實地調査をする筈なれば何れ其の時は工場地も具體的に決定を見るに至る可し

一兩日來秋雨降り續き加ふるに時候外れの冷氣あり目下朝鮮は概して中晩稻の開花孕穗に入り則にて強き日射を必要とする時期にて只今の天候が稻作に與ふる影響は決して良好なる可からざるべく最近に秋晴に返らざれば米作の前途甚だ樂觀し難からん

◎露貨暴落甚し

四百留に迨す

リガ陷落以來露貨の暴落益々甚だしかりしが十日哈爾賓露貨取引所に於て四百留に下落の旨入電ありたりと

▲鳥致院

▲淺田法院長　兼ねて管內巡視中なりし淺田公州地方法院長は十日午後七時列車にて天安より來鳥明治旅館に一泊十一日午前任　▲道浦應子　朝鮮貴族道浦應子は十日午後七時著列車にて夫人令孃同伴來鳥明治旅館に一泊十一日午前七時半特別自動車にて淸州を經て鎭川に向ふ

▲馬山

▲八月中の經濟狀態　八月中に於ける馬山の經濟狀態を聞くに二百十日の厄日は無難の見込立ち且つ米價其他綿糸布類の下落せしより當業者は前途を危惧して容易に宣戰を爲さず折柄綿糸布の暴騰に不意の利得を得て元氣旺盛なりし人々も月末暴落に遭逢して又々不意の損耗を招致したる結果景氣銷沈の有樣なりしを以て金融界は資金の需要起らず市場閑散亦閑散只管不振の嘆を見る▲分教室開始　馬山府壽町に倂置常高等小學校分教室を設置し二年生の同方面より通行する生徒五十餘名を收容し去る三月より開校せり

人事消息

▲大橋次郎氏（新義州本部長）　實務視察に出張中の處十日歸任

▲岩崎虎次郎氏（全州農工銀行支配人）　十一日朝過京

▲森佾一氏（光州農工銀行支配人）　同上

▲中西寶久男氏（平安農工銀行支配人）　同上

▲三宅敏一陣氏（總督府囑託）　十一日午後開城より入京十二日朝出發歸京の筈

彼れ此れ

○往年吉元師が、訪露の途中、乘艦將卒と共に、海底の鬼と化せし原因は、北海千古の秘密たりしが、而も今にして、此の大兇變は、前露國皇后の、親獨的大陰謀なりし事、明かなりと云ふ。嗚呼元帥の横死、之れを悼むの情、更に切なるものある也。

○獨逸にウイルソン氏の、强硬なる對獨態度に反對し、斷然國務卿を辭したる、平和主義のブライアン氏は、一轉して、今や主戰論を提げ、全國遊說の途に上る。曩にウイルソン氏の對獨態度の、軟弱を慨し、義軍を提げて、歐洲征途に上らんとせしルーズヴエルト氏は、今や一轉して、最も硬派を以て稱せらるゝ、スター新聞社に入る。不和論者の機關紙、スター新聞社に入る。面白き好對照に非ずや。

○國民の聲望を一身に集めたる、コロニロフ將軍は、遂にケレンスキー氏に、內閣の讓渡しを迫る。即ち辭表を排して、實力を以てせんとするに在るか。之れ亦リガ陷落の影響とならば、リガの陷落は、却つて露國を益する者にして、其の與奪判然たりし也。怪我の功名とや謂はん。

海港檢疫を一層嚴重に

虎疫流行地を經由して朝鮮へ
來る旅客の内で病毒感染の疑ひある ものは一時停留せしめて檢便を行ふ

富山石川縣方面に於けるコレラ病流行漸次猖獗を極むる傾向あるを以て警務總監部では九月八日附を以て各道の警務部に對してコレラ豫防に關する通牒を發した其れに由ると

◆從來施行して居る釜山仁川鎭南浦に於ける海港檢疫を一層嚴密にし以上の開港地の他に於ても今後必要と認めたる際には直ちに臨時海港檢疫を行ふ事、猶各道警務部は此の通牒を受領すると共に沿岸港灣に出入する

◆船舶に臨檢して乘組員の健康狀態を檢するべき事及び釜山警察署にては關釜連絡船に警官を乘務せしめ内地より來る船客の出發地經由地等を調査せしめ流行地を發し又は經由して來た者の内にて病毒感染の疑あるものは一時停留檢便を行ひ病毒感染の

◆疑なき者は 其の行先地警察署に通知し昨年釜山檢疫所に於て流行地より來れる旅客全部を滯留せしめたる方法は當分之れを行はない事とし京釜線北行列車には京畿道及び慶尚南道より警官一名宛を乘込ませ乘客の

◆健康狀態を 監視し列車中吐瀉患者を發したる場合は患者の處置を爲し得べき最寄り驛の警察署に報じ其の處置を爲すべき事等を通牒したるが更に今明日中にコレラ流行地を指定發表する筈である

石油爆發 四名の大火傷

三名は生命危篤＝倭館の椿事

慶北漆谷郡倭館雜貨商李致慶(三九)方にて九月八日午後九時半頃李致慶が店頭にて客人に石油を賣りて奧の室に入る際誤つて吊洋燈に頭を衝突て墜落破壞せしめ室内は四邊一面の火の海と化したるが恰かも其の傍らに一斗入りの石油罐あり忽ち之れに引火したる爲め轟然爆發して大事に及び李致慶、同人三男澤井(三)雇人張龍浩(五六)の三名は全身を猛火に包まれ雇人玄命祚(二)は半身に大火傷したる騷ぎに倭館消防組員四十餘名出動して消防に努めし爲め幸に同家を半燒(損害約七十圓)したるのみにて同午後十時過ぎ消し止め火傷者は何れも同夜の列車にて大邱に送り慈惠醫院に入院せしめ目下加療中なるが前記全身火傷の三名は何れも生命危篤なりと

今日から樂しい幼稚園

暑い間、暫らく休んでゐた南山幼稚園は十一日から開く事になりました、長い間合はなかつた友だち同志が急に一緒に寄つたので皆さん大喜び、附いて來た女中やお姉樣や、お母樣たちがハラ〳〵するのも介はずに突つき合つたり耳を引ん張つたり五十日間多のやうに靜かだつた幼稚園に一時に春が來たやうな大賑ひ、九時半になると君が代を唱つて開園式が濟むと大和田先生から「お休み中は皆さん何をしてゐましたか」といふお尋ねがあると「私は活動寫眞に行きました」「私は犬芝居を見に行きました」「汽車に乘つて平壤へ行きました」「仁川の海水浴に行きました」などもさま〴〵に答へ折紙のお土產をいただいてお晝過ぎ大風の吹く中を皆々お宅へ歸つて行きました

早稲田大學生の示威運動

早稲田大學教授職首問題に對し少壯教授連は勿論學生の激昂一方ならず學生一千餘名は十日夜校歌を唱ひ田中(唯一郎)教授邸に押寄せ示威運動を爲せり形勢益々紛糾しつゝあり（東京電報）

二百二十日

玆暫らく霽れ模樣は無い

十一日は二百二十日に當るので京城測候所に就て所員の天候に對する談話を聽いた所が概要左の如く物語つた

十日支那東海方面より黄海の西部に進みて停滯してゐたる低氣壓は其の進行徐々にして十一日朝黄海北部の鴨綠江口附近に停滯し其の中心示度七百五十四粍を示すに至り爲に

▲全南附近を 除く外概ね全鮮各地とも風雨の箇所多く東又は北の風強く元山及び龍岩浦は約九十粍の次は平壤の五十粍弱、國境中江鎭の約三十粍弱、城津の二十五粍弱、江陵の十一粍、京城の七粍、雄基仁川の五粍、釜山の約一粍等で降雨の配布は斯くの如き狀態であるから一部及東海岸の一部に豪雨を見た譯である京城では十日來北東の風吹き續き一度降雨が歇むと共に同夜星月夜午ら空は一面に晴れ渡つたが京城では十一日朝になり西天に當て

▲虹霓が現れ 午前七時前から再び雨が降り出し其の後も陰續して降てゐる狀態である、而して前記の低氣壓は只今（午後一時）の所、上陸しかけてゐる模樣であるから間もなく風雨は歇むかと思はれる、併し乍ら引續き黄海の西方に低氣壓が有る樣にも思はれるから、暫くは霽れ模樣になることは覺束なからうと思ふされど朝鮮の南端部即ち慶尚道方面から玄海にかけては大した雨も風も無からうと考へられる

京仁荒し 大賊就縛

▲奬忠壇山中で贓品分配＝五人組

仁川新花水里生れ呉允榮(三六)仁川新下水里生れ金大禹(三二)本籍不詳金泰植、京城積善洞朴願成(三九)京畿道朔寧郡西面石屯里生れの金彩鎭(三二)は何れも前科二三犯乃至數犯の曲者にて一定の住所もなく京城市中を徘徊して知己となり尤榮外四名共謀し八月中旬以降主として内地人宅を荒し廻り錠前を破りて侵入し金品を竊取したる贓物は南山公園又は奬忠壇の山中にて分配するを常とし一部は各所の質屋に入質し得たる金にて遊興又は生活をなしたるものにて何れも此の程本町警察署の手に逮捕され取調べの上檢事局へ送られたり其の被害者及び金品額左の如し

▲黄金町三丁目渡邊（古洋服十五點外四十七點百二十六圓餘）▲黄金町二丁目渋谷洋服店（外二十五點三百餘圓）▲社稷洞李鍾建（人力車一臺七十圓）▲花園町後藤（現金八十圓外二點二十八圓）▲仁川花町一丁目林（衣類三圓餘）▲仁川松坂町一丁目小石（五點六圓餘）

臺灣に補助貨代用の郵便切手

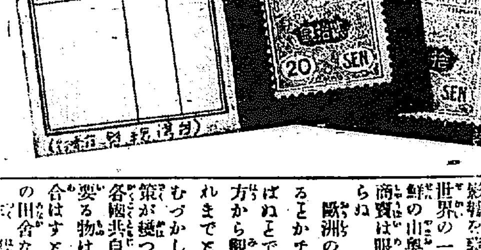
補助貨拂底には各地共大分困つてゐるが臺灣ではその救濟の一策として郵便切手を代用する事になつて臺北、臺南の兩郵便局では代用切手を臺紙附にして賣り出した、切手は五錢、十錢、二十錢、五十錢の四種類で特別郵便切手臺紙の種類は五十錢、一圓、二圓、五圓に區分され臺紙はそれ〳〵色分され大きさは縱二寸から横四寸位になつてゐる、使用する時は此の貼附てある切手の綴つたものをその入用の金額丈渡すと一般に通用することになるのである、切手の裏面には受入日附印を押して更に左の樣な注意書がしてある

此の切手は貼附の儘十錢以上貯金の預入振替貯金の拂込に用ゐられます

此切手は貯金なれば一箇月五圓までの預入又は振替貯金なれば無制限に拂込が出來ます

此切手は種類の異るものを合同して預入又は拂込に充てられます

此切手は毀損汚損しますと郵便局所に於て受附ませんから可成叮嚀に御扱ひなさい



▲錠前を破壞して竊盜＝二人組

熊本縣飽託郡清水村生れ前科三犯内田組一(三八)大阪市北區天神橋三丁目北村藤三郎(三)の兩名は京城西大門外の鮮人宿を根據として共に起臥し組一は藤三郎が貧困なるより竊盜を敎唆し組一は常に見張りを爲し藤三郎は錠前を捻ぢ切りて忍び込み金品を竊取し其の贓物の處分は主として組一が擔當し僞名して入質處分をなしたるものにして七月下旬以降九月初旬迄に前後十五回に亙り京城市中の左の箇所より多額の金品を竊取して遊興費消し居る中遂に本町警察署の手に逮捕され取調べの上兩名共檢事局へ送られたり因みに被害者及び金品額左の如し

▲永樂町三丁目呼子（二點十五圓）▲太平通二丁目朝鮮公論社の部屋（現金六圓外三點十二圓）▲永樂町二丁目稻藤（インバネス一枚二十八圓）▲本町五丁目松田（二點十五圓）▲大和町三丁目赤萩（現金二十四圓外二點二十八圓）▲黄金町三丁目中川（二點十八圓餘）▲本町四丁目鈴木（三點十九圓）▲笠井町北野（時計外二點十八圓）▲櫻井町二丁目原田（衣類七十四圓餘）▲光熙町一丁目安部（衣類九十六圓餘）▲大和町一丁目小野（衣類百三圓）▲本町四丁目中川（衣類四十八圓）▲御成町金森（衣類三十三圓）▲櫻井町二丁目宗像（衣類六十圓）

●大阪に擬似虎疫發生

大阪南區今宮に擬似虎列拉患者一名發生し目下糞便吐瀉物等檢鏡中なり

▲虎菌を認めず

大阪南區今宮に虎列拉病の疑ひある患者發生したることは既報の如くなるが其後檢鏡の結果に據れば幸ひに虎列拉菌を認めざりしなり（大阪特電）

●名古屋脫稅事件の火の手

名古屋の綿糸成金近藤友右衛門の脫稅事件は其の火の手愈々擴大し收監せられたるもの既に八名に及べり（名古屋電報）

●小學校長起訴せらる

生徒生埋事件

福井縣足羽郡江守村尋常高等小學校にては同校運動場の地盛りを爲す爲め男女生徒に同村兎越山麓の土を掘り取らせゐたる所既報の如く去る七日同所の土石崩壞せしため兒童五名生埋となりて死傷したるが右に對し校長大橋八郎氏は過失殺傷罪として起訴せられたり（福井電報）

●支那を觀て（二）

▽木村増太郎氏談△

（此のはなしは山口高商の支那貿易科主任木村氏の說くところを主として朝鮮に關係あるものを記して見た）

物價の騰貴とか食物の不足とかふとは遠い外國の關係のないはなしと思うて居ると、ドウシテ〳〵日本などもいよ〳〵その卷添に會ひ出して來た、われ〳〵が手近に使ふ金物にも紙にもさては晒木綿のふんどし手拭に至るまで一つとして世界大戰亂の影響を蒙らぬものとてはない、遠い世界の一隅に起つたことが、スグに朝鮮の山奥にまでひゞく、これからの商賣は眼を世界全體に瞭らかねばならぬ、歐洲の戰爭はこれからさき何うなるとかチヨツトわれ〳〵の想像も及ばぬことである、しかしこれを經濟の方から觀ると何うも世界の樣子がこれまでとは變つて行くやうである、むづかしく云へば近年世界の產業政策が變つて來る樣子である、それは各國共自給經濟といふて自分の國に要る物は自分の國に出來る物で間に合はすといふことである、今でも内地の田舍などに行くとよく一家で味噌も作り機も織り米も培り下駄も作る、といふやうに人手を借りず自分自身でやつて居るところがあるが、これからの國家も亦せひ共かくならねば不可ぬといふことを〳〵感じて來たのである。

わたくしは這回支那を觀て來て支那の經濟のことをおはなしする前にぜひ此のことを前提して置かねばならぬ、今日われ〳〵が使ふ晒木綿、その原料とする棉花は日本にありますか、否ありません、船を造る鐵があるか、ありません、米が不足なくあるか、これも無い、米は皆支那の南方の佛蘭西領の印度支那から來るところの南京米で間に合はして居ます

若し佛蘭西と喧嘩することがあるか或はまた支那海を掠やかされることがあれば、日本人は口が乾上がらねばならぬ、現に今日でも米國からの鐵の輸出禁止にあへば大騷ぎする、濠洲から羊毛がとれぬとなれば青息をつく、モスリンが不廉くなるところの騷ぎぢやない、英國が印度の棉花を何うかしても大恐慌、詰り日本には工業用の原料から大事な食物に至るまでみな外國にたよらねば活きて行かれぬ立場にある、而も今日の傾向ではだん〳〵欲しくとも買へないとになつて來る、假りに朝鮮、臺灣で間に合はすとしてもそれでも足りない時は何うするか、いよ〳〵屁古たれる外はない、然るに日本にとつて幸ひにも支那がある、救ひ主たる支那がある、われ〳〵は何うしても支那を見逃してはならぬのである

●訂正 十日夕刊所載の氣の毒なる一家（石川彌三郎）への金品寄贈中金三圓近澤洋服店とあるは長谷川町近澤洋紙店の誤りにつき訂正す

●綿糸成金は屛息す

元の杢阿彌となり昨今青息吐息の姿

一時綿糸の暴騰に伴れ大阪に多數の綿糸成金を出だせしが昨今絲價の大崩落に對して是等の成金連は何れも元の杢阿彌となり昨今青息吐息の姿なり（大阪特電）

商況

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿糸布跳返す 當十三圓方跳返へ

[illegible]

●錢乃至八圓の入電

[illegible]

●夏大豆不況 漸く出廻り期に達し

[illegible]

下關相場

[illegible]

●機械油依然漸騰

[illegible]

錢方の下値

[illegible]

●砂糖は鈍狀 次第に氣弱

[illegible]

一圓十錢と安値 下關沖渡

[illegible]

●麥粉漸落乎

[illegible]

●綿ネル無商内 全く氣迷ひに陷

[illegible]

益々逆相場 到底輸入望難

[illegible]

●支那棉氣迷ひ

[illegible]

●毛斯綸更に低落 更に惡化 六十五錢

[illegible]

十錢處で大口買氣 先物は十一圓四 案外賣り焦

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物

[illegible]

更に三十錢方高 鮮白一段の強調

[illegible]

仁川期米

十一日前場（小堅し）

大阪天候晴 大前場二十一圓七十九錢と昨より五錢安

大阪三節八十四節七十三錢六節八十一錢と移

[illegible]

市場寥閑

[illegible]

▲依然保合 買方の警戒

[illegible]

仁川米豆取引所 十一日の十一月限

[illegible]

靑物だより

[illegible]

小口商内に保合の裡

[illegible]

▲厄日と天候

[illegible]

▲暴風と人氣

[illegible]

一向人氣に影響なし 大厄日も無難な思

[illegible]

▲更に展開せず

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 ナ仲買店

仲買店 仁川海岸町 電話 [illegible]

釋宗演老師を迎ふ

旅中の疲勞更に見えず温容歡迎者を謁して快く語る

臨濟宗圓覺寺派管長釋宗演老師は支那漫遊の途次九日夜入港關釜連絡船對馬丸にて釜山上陸折柄の風雨に拘はらず各宗布教師及び檀信徒市内有志者多數の出迎あり記者は老師を船中に迎へたるに旅中の疲勞更らに感ずるところなきが如く溫容歡迎者を應接室に請じて快く語る、海上の模樣を聞くに答へて曰く『神は此度にて

◆三度び玄界を渡りて來鮮せり此度も厄季節なれば風波

◇釋宗演師の著鮮

船しかりしも左して船暈等のことなかりき、しかし數堂居士(二條公爵子息厚基氏)は大分弱られ先づ落第の方なりき』厚基氏を顧みて一笑す間もなく一同に迎へられ直に大廳町萩野彌左衛門氏本邸に入り投宿せり記者は重ねて十日午前老師を同邸に訪ふ、既に訪客詰め寄せ佗々對談しつゝ需めに應じて毫を揮ふ忽ちにして各樣の達摩を畫き、三十枚、一筆書きの富士、朝鮮茶碗等奇あり妙あり

◆詩藻忽ちに湧いて

湖波壯に遊ぶの雄健精力横溢をして想起たしむるの慨一座を感嘆せしめ

終つて晝食を喫し一同と共に市內を一巡し午後四時より妙心寺、臨濟宗の主催に因れる第一尋常小學校の同師講演會に臨む、同師今回巡錫の旅程は朝鮮にては釜山、大邱、京城、平壤を經本月十八日に安東縣に渡り

◆奉天天津を巡錫

して二十五日北京に入り十三四日滯在の上更に天津を見物して十月五日正定に到り臨濟禪師の故蹟に獻香し鄭州にては達磨大師の遺蹟たる嵩山少林寺を參詣し、十四日には漢口に着し直に其他附近の風光を賞し二十三日迄滯在漢口より汽船にて九江に下り廬山を見物して廿九日上海に下るの途中下關、蕪湖を見物して十一月四日上海に滯在し十六日に上海出發し翌十七日に杭州、蘇州等を一覽し南京を經て曲阜に赴き孔子廟を參拜し夫れより泰安に向ひ泰山に登山して廿四日には濟南に返り青島を經て海路を取りて下の關に航し十一月三十日には歸山の豫定である記者は同師

◆今回の支那巡錫に

就きて感想を質したるに對し同師が宿志たる支那漫遊の擧を實行するに際し禪道會に與へられたる寄書を以て同師が老齡を提げて長途支那大陸を巡錫するの趣旨の存する處を知らされたれば玆に之れを採錄すべし

る支を得べし 納今回支那大陸漫遊の事は、一朝念に思立ち候事には無之、是は多年心頭に在致し居候處にて、好機會もあらば宿願を遂げ度と存居候處、今回料らずも或る有力なる篤志者の援助の下に、愈々其志を決行する事に相成り申候。今更申迄も無く候得共、支那と吾國とは[illegible]、時代榮西禪師一たび彼地に渡りて以來、足利德川の時代を通じて、彼我高僧の往來、宗旨の傳承は申迄もなく、共に美術に、さては殖產農工の事に至るまで、當時吾邦の文明は彼れに負ふ所のもの少なからざる事は皆能く人の知る所なり[illegible]彼國に在ても、宋興り、宋倒れ元起り、明清相襲いて又亡び、朝を代へ、遂に今日は又中華民國の世と相成り候、現狀如彼有樣に立到り候[illegible]に政治、宗教、教育、經濟其外あらゆる制度文物みな急劇の變化を蒙り、國民塗炭に苦しみ[illegible]、我等は吾日本國民の天職にて[illegible]佛法の衰頽を傍觀するに忍びず、自己の不敏を顧みるの遑なく、先づ隗より始むる擧に出でしものに有之候 御存じの如く歐米各國の宣教師が支那に向て其教線を擴張する事に就ては如何に獻身的の努力を拂ひ居り候か、其服裝も彼れにし、其他生活狀態までも悉く彼の風に同化して其救濟に從事し、學校、病院、育兒院の事は申迄もなく、物質、精神兩方面より支那の人心に喰ひ入り居る事は實に驚く可きものに有之候[illegible]今回の旅行は九、十、十一の三ヶ月を期し、大體の樣子を實地に觀察するに止め[illegible]我等は其よりも先づ千聞一見を[illegible]、同伴は[illegible]、途中京城、[illegible]下車し數日同士の要求に應じ[illegible]も打し候上、先づ北京に向ふ考に候 早々

因に宗演老師に隨行來鮮の管長代理總務長大野宗道師は途中宗務上の要件にて同行し能はざりしも京城にて加はることになりたりと(釜山)

釋宗演師講演

十一日朝釜山發大邱へ

相州鎌倉圓覺寺派管長釋宗演老師の來釜を機とし一掬の法話を請ふべく釜山臨濟宗妙心寺及び淨土宗主催となり十日午後四時より釜山第一尋常小學校大講堂に於いて講演會を開催したるが左しもに廣き大講堂も聽衆滿場を呈し小澤妙心寺布教師開會の辭を述べ次で妙心寺派布教監督後藤瑞巖師は『現實的宗教』と題し一『現實的宗教』二『理想的宗教』三『現實、理想合致的宗教』の要點を擧げ即ち生死交關の間に處して始めて宗教の異論に入るべき鐵案を下し最後に釋宗演師は『疑郎性』と題し碧巖集の一節『無邊之風月眼中眼、不盡之乾坤燈外燈、柳暗花明十萬戶、敲門處々有人應』の一句を前提とし各自精神の修養に勉めば自から光風霽月以て愉快に人生に處するを得べしと精神修養の忽にすべからざる種々例證を擧げて通俗的に一時間に亘る有益なる講演を爲し聽衆に大なる感動を與へ午後六時閉會したり因みに釋宗演師は十一日午前十時三十分發列車にて大邱に向へり(釜山)

畫の中の九味浦の濱

天然の美に憧れ天然の生活を愛する歐米人の呑氣な避暑生活

♣朝鮮全道から集つて來た避暑客には宣教師もあり醫師もあり實業家もありと言つた風であるが彼等が一樣に天然を愛し簡易の生活を愛し團體生活に對する秩序ある訓練を美しい ◆模範を有つて居ると言ふ ◆ほとても日本人などの眞似の出來ぬ處である日本人であれば避暑と言へば贅澤をする者と定めてあるが彼等の避暑は體育本位であるから其の生活は極めて簡易で何處の家を訪ねても折疊の出來るズックの寢臺や石油箱に板を打ちつけた腰掛など計りで何一つとして

♣贅澤な品物は備へてない食物の如きも仁川館麥機の出張所で販賣して居る麵麭は仁川の倍額で不自由な事は言語道斷であるが其れでも彼等は不自由を訴へる者がない食卓はいつも自製のパンと果物位ゐに甘んじて居るのである

◆天然に對する憧憬 落日の前で感激の讃美歌

♣外海の西から 野山の區別なく立迷めた朝霧が消ゆると朱盆の樣な朝日が鉛色の海に紅色の梭を投ぐるが如く閃めかす頃ほひには水晶の珠を綴つた露にスカートの裾を濡らしつゝ草叢を逍遙する婦人や朝を讃美する人もあつて ◆早朝から讃美歌など歌ひ ◆時は全く度外にあるの念 ひがする樣は多く潮風に襟を靡きつゝ讀書をするか裏の松林に小やかな集りを催して邪氣ない御伽噺に耽つたり合唱をしたりする水泳は午後四時から一時間半許りの間で此の時は手に手を取つて波に戯れたり

♣眞白い砂濱でダンスに打興じ又或時はモーターボートを浮べて九味浦の濱から德洞附近の小島を訪問しては岩に碎けて嬉を吐く波の戯れを眺めたり島に上つて心行くなり眺望を恣にする ◆彼等の避暑は日常の頑雜な生活から離れて出來る丈け簡易な生活を營み出來る丈け自然に親しんで精神的にも肉體的にも健康を增す事に努めて居るのであるから日本人の成金的避暑趣味とは全然其の目的を異にして居る從つて天然の美觀などに對する

♣感激が深刻で 僕が出張して居た或る日の如きは恰も長山串に沈まんとする落日が烈々たる眞紅の燐光を天心に向つて放射すると蠱は梧桐色に炒かれ波は火の海と化し人の頭さへ薄色に染まつた程の ◆非大なる光景となつた悦め彼 この天然の美觀に感激して逍遙に一人集り三人寄り遂ひに數十人集つて名狀し難い强い調子を以て一齊に讃美を歌つたが僕は夕陽の壯嚴さよりも寧ろ彼等の自然に對する憧憬の大にして感激し易いのに驚かせられた於此乎僕は始めて歐米に何人かゝ

♣風光の絶佳な土地を發見した場合は政府は巨費を吝しまず鐵道を敷設して此れを廣く天下に紹介すると言ふ事を想ひ起して彼等の趣味生活が如何に ◆廣く大いに且つ高尚である 低級趣味に沒頭して居る人達に彼等の生活を見せたい樣な氣がした (つゞく)

室內に松茸が出來る

歐米では料理法が進んでゐる

◆水のやうな涼風が野山を撫でゝ木の葉が黃ばむ九月は風味のよい松茸や香り床しいしめぢやいみ〳〵な茸類が朽葉の下に生れて都人の食膳を賑せます ◆日本人は昔好きの人種で茸の風味を解する點に於ては何れの國人にも劣りませんが歐米各國人も種々の茸を食用に供し其料理法は却つて却々進歩して居ります、殊に英國では松茸を佛蘭西、伊太利では椎茸を推稱して居ります、椎茸の培養は寧ろ我國よりも進歩して居ります、其外初茸やしめぢや風茸なども盛に賞味されます ◆米國では松茸が日本同樣に珍重されます結果其値段も廉くありません所が近頃になつて桑港から六十哩の郊外に住むマクラァンといふ造庭技師が園藝的に松茸の人工培養を研究の結果室內に於て松茸を培養して市場に出すやうになり桑港に於ける松茸の相場が下つて參りました、氏の培養法は室內の周圍に壁に沿つて細長い溫床を造り馬糞と培養土を按排して其上に山から採取した松茸の菌絲を下し茸の成育に適當な溫度を與へると自然に山に生れると同樣無數の松茸が發生するのであります ◆松茸の人工培養は從來我國の植物學者等の手で數次試みられて其都度失敗に歸した程で殆んど絶望的な試みとして取扱はれて居つたのが米國人によつて完成せられた譯であります(桑米國通信)

寫眞機で遊興

宮城縣生れ當時住所不定寫眞師遠山剛(三三)は黃海道遂安郡綿寫の旅館に雇はれ中寫眞代七圓を橫領し下宿代を踏み倒して平北熙川へ逃亡し同地料理店熊本屋の酌婦に熱くなり遊興費八十圓の仕拂に困り損へ居る寫眞機を抵當に入れたるに其の當の寫眞機のレンズを拔き取りて同地の熊谷某に三十八圓に賣飛ばし七月二日同地間組にて安滿道路熙川江橋梁等十三箇所の寫眞撮影を請負ひ原料賭入費として百三十餘圓にて請負ひ原料賭入費と稱し三回に九十三圓餘を受取りて又も熊本屋酌婦艶子に現を拔かして該金を費消し其の儘平壤に逃げ來り旭川浪花館へ投宿し件のレンズを本町の根居商店に到り十五圓にて賣り飛し賑町の大島屋に登樓し居たる處を平壤署の刑事に引致さる

●大和田園長歸京 東京にて開催せる幼稚園保姆講習會に出席の爲め東上中なりし南山幼稚園長大和田りよう子は十一日朝南大門驛着列車にて歸任せり

諸の砂

●入院から慘死 愛知縣碧海郡[illegible]田中病院に入院中の神谷良一(一九)長谷部しん(二一)は同病相憐れみ遂に戀に陷つて良一は家の金百五十圓を引き出し之れを旅費として二人共相携へて家出し東海道を見物し廻つて大津に行き瀨多川の鐵橋から相擁いて投身して情死を企てたのか救ひ上げられたが生命危篤

●巡査上りの大賊 長野縣下伊那郡[illegible]村小平作次郎(四八)は巡査を奉職中女を拵かしめて免職となつたので高利貸業で數面な[illegible]を働き其の金で豪遊中を逮捕された

●五人で滅多斬 兵庫縣飾磨郡御國野村山陽製藥會社職工吉岡梅吉(二四)外四名は平素不和の間柄なる仲間の水野吉松(四二)を九月一日の大雷雨の中に誘ひ出して五名掛りで吉松一人に數ケ所斬りつけた

●人妻を拐殺 神戸市[illegible]大阪[illegible]は[illegible]と[illegible]三之助の妻はる(三二)と[illegible]の揚句二日朝右合せた[illegible]の死體を[illegible]

●掏兒の頓智 東京市神田[illegible]生れ[illegible]科八犯[illegible]は大阪市の電車の中で乘客大阪西區阿波堀五丁目の[illegible]の十圓金貨を掏つたが直ぐに感付かれたので[illegible]の間に[illegible]南區[illegible]一丁目川口[illegible]の前の[illegible]込んで知らぬ顔して居たが[illegible]

□美人となるホーカー化粧料ホーカースキート本舗懸賞字さがし□

懸賞發表

▼先般募集仕り候懸賞字さがしは、各位の大歡迎を受け御投稿數實に數十萬枚に達し候。本舗は嚴正なる抽籤の結果左の通り發表仕り候

賞品は九月十日前後に發送

東京神田和泉橋 ホーカー本舗 堀越嘉太郎商店 振替東京一五五六

◎解答

一、繪の中に匿れたる文字は左の通り

一、ホーカー

二、ホーカー液、ホーカー白粉

三、ホーカー美髮液、ホーカースキート

此の他答案にホーカーあやめ香油、ホーカー水油、ホーカー椿油と記しあるも當選と見做し候

▼一等五圓(三越商品切手)一人 茨城縣多賀郡日立村宮田 大內きみ子

▼二等三圓(ホーカー化粧品詰合)二人 大阪市南區笠屋町卅七 藤本一太郎 岐阜縣羽島郡竹ケ鼻町 河合ひさ子

▼三等一圓(ホーカー化粧品詰合)十人 靜岡市殿町 藤村イト子 天津日本租界 尾崎藤重 福岡縣池ノ村 武田三十郎 岡山縣打方村 津吉求女 神戸市三宮町 細井彌壽夫 兵庫縣重春村 藤原美津江 大阪南區[illegible]村 大津方花子 大阪府氷室村 重村熊造 愛知縣[illegible]崎町 稻垣武袋 新潟縣新潟村 高井彌宗治

▼四等(ホーカー液一本宛)二十人 ▼京都府前田政治郎▼丹後北秀雄▼大阪所西川ヨ子▼大阪岩崎隆一▼大阪山田ハル▼兵庫縣堀岡ヒサノ▼兵庫縣石合ナ[illegible]▼廣島猪原貞登▼大分縣後藤裕▼香川濱田銈助▼青森安田谷[illegible]▼北見瀧仁三郎▼京都小川はつ子▼京都樋口鶴太郎▼京都瀧野さん▼奈良興原やゑの▼新潟橫地生駒▼橫濱橫森武雄▼千葉塚田準一▼茨城江口末次郎

▼五等(ホーカー白粉一瓶宛)五十人 ▼北海道鳥畑榮子▼北海道笠島スエ▼福島鈴木彌吉▼大分網田一郎▼佐賀野田初代▼佐賀高木たまき▼大分安藤政子▼福岡山本油雄▼熊本村田辰雄▼鹿島岩田キクエ▼德島吉本道子▼伊豫柏原桑吉▼滋賀遊藤[illegible]▼島根杉原[illegible]▼廣島[illegible]▼岩川宮一▼阪[illegible]▼岡山佐々木きしの▼瀬九三郎▼岡山[illegible]▼神戸松根柳子▼神戸市丸山啓次▼兵庫船引榮代子▼兵庫佐藤猪太郎▼兵庫池田留之助▼阪大伊藤ひで子▼大阪吉川半一▼大阪須川文二郎▼大阪高堂かつ子▼大阪高橋吉松▼大阪松原絢子▼大阪大野きみ▼大阪中村德次▼大阪山下こと▼大阪和田さわ▼大阪藤田周太郎▼阪小西久吉▼京都山口洋吉▼金田健士▼京都吉田しづ▼奈良吉村つれ▼滋賀谷右幸太郎▼石川菊地あい▼愛知杉浦福一▼愛知白井逸次▼三重野中久郎▲岐阜市岡享二▼岐阜栁田良一▼岐阜金森てり▼茨城栃石さく▼長野大內俊雄▼北海道後藤溪道▼長野丸山喜三雄

▼六等(ホーカー水一瓶宛)百人 氏名多數につき省略す

美味滋養

健康となる金科玉條は毎食前飲用するにあり さすれば血を増し肉を肥し知らず識らず健康體となる

金銀賞牌二十四個

蜂印香竄葡萄酒

▼蜂印香竄葡萄酒は優良の葡萄酒を基とし補血強壯料を主成分として精製せる理想的滋養品なり

弊社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比實に理想的なる
●大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジーユム」付ペン (責任保險付)

完全なる設備と老錬なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕 京城旭町二の六 東京パイン萬年筆京城出張所

定價 押出式 六圓八十錢 [illegible]

發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番
販賣所 京城本町一丁目 ウツボヤ書店

料理屋遊びが止んだと 板垣伯爵夫人語る

「女は小兒の教育さ、料理さ、裁縫さが上手であれば其れで充分である」と、よく斯う言はれますが實際料理は女に最も必要の資格で、これに精通して、日々の食卓を賑はす事は、家庭和樂の祕訣であります、一家團欒の樂しみ程人生に樂しいものはありますまい。世の中が忙しくなつて來るに從つて、この團欒の機會も尠くなつて來ますが、私は家人が一日の激しい務を終つて一家揃うて夕飯の食卓に向ふ時が、一家團欒の樂しみに耽るには最も良い機會と思ひます。此の場合に若し食卓に趣味が無かつたなら、折角の機會も無趣味不滿足の間に過ぎ去つて終うのであります、然らば如何にせば食卓に最も趣味多からしむることが出來るかと申すに主婦に料理の智識があつて、其の日〳〵の食卓に變化を與へて賑す樣にしたなら必ず趣味が多くなつて來ると信じます。

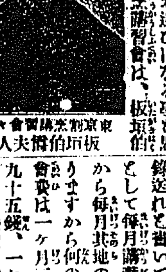
主人が常に家を外にして料理屋遊びをする家庭で、主婦は種々に思ひ惱んだ揚句フト思ひついたのは料理であります。而して熱心に習ひ覺えて日々品を變へて食卓に趣味あらしめ、夫をして家庭の味を充分に覺らしめた結果、夫の料理屋遊びは其れ以來フツツリ止んださ云ふ實例は、私の知つて居る所であります。

料理は確に家內和樂の秘訣であります。然しながら料理研究さ申せば、直に贅澤であるさか、金がかゝるさか云はれますが、料理研究さ云つた所で、別に高價な料理や贅澤な献立を研究する必要はありません。料理さは家庭で召し上がる日々三度の食事を調理する事を云ふのであつて、從來用ひて居つた材料を以て、如何に調理すれば美味しく食べられるか如何にせば經濟的に料理されるか、如何に料理せば最も營養價が多くなるかを研究すれば、料理研究の目的は遂せられるのであります。故に料理を研究すれば、不經濟どころか、日々の食事が經濟的になり、然も美味にして、滋養分を多く攝取する事が出來るのであります。

昔は上流婦人になる程、自ら料理などする事は恥ぢると云ふ風がありましたが、私は新時代の婦人は是非料理を研究して、一家の和樂をはかると共に、日々の食事を經濟的ならしめ一家族に美味な滋養ある食事を供して、充分の活動をなし得る樣に心がけて欲しいのであります。

料理研究の好伴侶

料理研究が家庭の主婦に必要な事は別項板垣伯爵夫人の談話の如くでありますが、借て料理を研究して見やうとした所で、如何にせば最も早く其の目的が達せられるかと云ふ事になると、何人もお迷ひになる事と思ひます。東京割烹講習會は、板垣伯爵夫人が、我が國の家庭の主婦に料理を研究せしめんとして設立されたものであります。



東京割烹講習會々長 板垣伯爵夫人

然しながらお忙しい家庭の婦人方が料理學校に通學する事などは、事情が許さないものがありますから、本會は家庭婦人がお宅に居ながら料理研究が出來る樣に、毎月講義錄を發行して料理研究の便宜を圖いて居ります。其の講義錄は在來の通信教授など、異なつて、本會には附屬の料理學校があつて、斯道の專門大家が日々季節に合つた料理を實地に教授したものを載せて、總振假名の平易な文章で、何人にも判り易い樣にしてありますから、此の講義錄を讀めば、日々學校に通つて實地に教授を受けたと同じ事になります。而して講義錄の內容はあらゆる日本料理、西洋料理、支那料理、和洋菓子の製法、家庭漬物法、食品に關する研究事項、野菜の栽培等、料理に關する一切を網羅するのみならず、又附屬料理研究會の研究になる婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を悉く解說圖を入れて、手を取る樣に教へたものが載つて居ります。此の益ある講義錄をお取りなさらんとする手續は至極簡便で、ハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直に會員として毎月講義錄を送り、會費は後から毎月其地の郵便局から集めに參りますから何の手數もありません。會費は一ヶ月三十五錢、半ヶ年一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢であります。會員は講義錄の配附を受くるのみならず、質問が自由に出來ます。而して六ヶ月會員となつて居れば修業證書を與へ、一ヶ年會員となつて居れば卒業證書を與へます。目下會員募集中で、此の際入會の方のは臨時の特典があり、又半ヶ年會費前納の方へは「家庭寶典」を呈し、一ヶ年前納の方へは「婦女通鑑」及び記念メダルを呈します。尙內容見本御入用の方へは無料で御送りしますから、遠慮なく

東京本郷元町一の三 東京割烹講習會

へ申し込んで下さい。本會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五六九二番であります

城太平通二丁目商圭連と共に北米倉町貸座敷文龍樓方に登樓し八十錢餘の遊興をなし泊り込み八日午前六時頃家人の隙に乘じ多量の阿片を飲用して自殺を遂げ居るを娼妓超山玉[illegible]

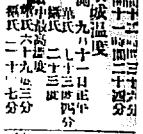
●連絡船上陸客 十日午前入港九時十分高麗丸一二等客 一等(九名)三浦周行、鈴木利平、安藤峰一郎、同令子、同太郎、外四名 二等(七十五名)鵜崎信太郎、谷口捨松、浦井末吉、磯部百三、同とみ、同かつ、同盛夫、有馬しづ[illegible]山口清介、西山幹治、中野德郎、丸井新平、大橋德之、品川德藏、中村一衛、中村たみ、同規矩夫、松山岩太、同よし、[illegible]之助、西岡體次郎、近藤三郎、小野琢磨、浩赤男、同りて、同信男、嶺本悠介、茂木と[illegible]、加藤清、植見忠三郎、同初子、同芳子、松下[illegible]子、菅世吉、鈴木信太郎、同すみ、[illegible]三四郎、井口多平、李少村、羽山たま、同貝弘、榎本千代、同ふみ、高津いさ、弘永吾八、赤堀峰太郎、松本さみ、奥田貞次郎、同とく、岡[illegible]

●釜山着高麗丸二三等客 一等(五名)谷井濟一、川村作太郎、岡谷良男、米國人一名、和蘭人一名 二等(二十二名)金井伊平、日野りく、同奈美、横田甚太郎、戶田よう、長田とき、戶田武朗、同しづ、同瀨二、宮本本吉、小田義男、石原力三、下山金一郎、河井松之助、岡田きよ、巴府森、露國人六名 三等(百名)

●暴風警報(九月十一日午前九時三十分發)▲警戒區域 [illegible]城、忠淸南北道、全羅南北道沿岸 ▲警文 風雨强かるべし ▲位置 黃海北部 ▲示度 七百五十四粍 ▲進行方向 北東 ▲警戒區域 平安南北道、咸鏡南北道沿岸及內陸

△前めね―― 同十二日 同十三日
△俳諧狐一 同十三日 同十四日
△川柳賓一 同十四日 同十五日
△物は付掛けぬものは 同十五日 同十六日
△懸賞和歌(撰者と掛けて) 同十六日 同十七日
△一日前其時々の事 同十七日 同十八日

[illegible]は一週間後▲種類の異る[illegible]更よる事總て一種二句以內の[illegible]表後一週間以內に[illegible]又は[illegible]通告者には五十錢の[illegible]を呈す(但[illegible]●何號何號と明記し[illegible]▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係



●京城溫度 [illegible]

汽車發着 [illegible]

左甚五郎

第二十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

聖人君子は世の中を外れて渡ると申しますが、甚五郎なぞは猶且其の類ひでありまして相變らず仕事もせずに飲んでばかり居る、酒を買ふ代に差支ると戸棚から袷を一枚取出して質にでも入れやうかと思つて居る處へ、恰度屑屋が參りました 甚『オイ屑屋さん、此處へ來てくんねえ』屑『ヘエ有難うございます、何かお拂ひ物で』甚『此の袷を一枚買つてくんねえ』屑屋は其袷を擴げて見て居たが 屑『是は親方肝腎な處に燒穴がありますから多分には預けません』甚『幾何でも宜いから買つて行つてくんな、何うせ俺の物ぢやア無いので』屑『一貫五百にお貰ひ申しませう』と屑屋が其の袷を籠の中へ入れやうとする途端に表から飛込で來た内弟子の金八が 金『オイ甚五郎さん其の袷は俺のぢやア無いか、何をするのだ』甚『イヤ金公歸つて來たのか、今お前の袷を鳥渡借やうと思つて屑屋を呼んだのだ』金『俺の不在に袷なんぞを引出しちやア困るじやアねえか』甚『宜いてねことよ』金『何が宜いもんか、屑屋さん歸つてくんねえ』甚五郎は〵〵と笑ひ 甚『イヤ屑屋さん、氣の毒だが二三日經つたら來てくんな、此の野郎が居ねえ時に何うせ賣るのだから』金『冗談云つちやア叶けねえ』金さんは憤いて屑屋を追跡してしまひました、恁ういふ風であるが金のある時には他人にも驕り又金錢も與れる故自然若い者も甚五郎に從つて居りまする、スルと其年御本丸が炎上いたしました、昔は此の火事を江戸の花と申しましたが、消防の機械其他の設備が整つて居りませんから隨分大きな火事がございましたもので、其の中でも御城と吉原ばかりは消防夫が入れませんから大概は灰になつしまいました、御本丸炎上に就て江戸中の大工が殘らず入つて仕事をいたします、政右衛門も多くの仕手方を伴れまして御城に仕事に出ます、甚五郎も一緒になつて毎日御本丸へ參りまして仕事を手傳つて居ります、スルと家康公が駿府から江戸へお移りになつた時に御自身お植になつたお手植の八重櫻といふのがございます、紅葉山の御庭内にあつた諸木が燒けた中に、此の八重櫻だけは火災を免れまして三月の初旬になると蕾を夥しく持ちました此段を將軍家へ言上いたしましたから三代將軍家光公悉くのお喜び 家『御祖父様のお手植の櫻、火災を免れ夥しく蕾を持ちそれが滿開いたしたと云ふは芽出度いことである』と仰せ出されました、茲で「一日紅葉山へ參つて八重櫻を見物をいたす」と御作事方へ御沙汰になりまして當日將軍家が成らせられる間は職人共一統下小屋へ退つて休息いたし、靜粛にいたして居るやうにと云ふ申し渡し、將軍家が成らせられまする處は幕を打廻しまして、御休息を遊ばすお茶屋やうのものを拵へ、乃で御庭係りの太田勘左衛門萬々御待受けの支度をいたしました、外は白、内には紫に白く葵の御紋を染抜いたる幕を打廻はし、女中衆は大勢右の御茶屋へ來て將軍家が成らせられました時に御休息を遊ばす支度をいたして居ります、未だ將軍家がお出になるには大分刻限もある、乃で若い御女中達が廣なたる御庭前へ出ましたので大喜びで 女『鳥渡楓さん、蝶島さん此方へ入らつしやいまし』と鬼ごッこを始めましたが、若い女中衆のことでございますからきやッ〵〵といふ騒ぎ、御庭係りの太田勘左衛門が 勘『コレ〵〵何ういふものだ、お前方は然う騒ぎなすつては叶ん、もう追ッ付け上様が成らせられる、靜にさッしやい、コレ〵〵何ういふものだ、靜になさい』と頻りに制して居ります。

院長 醫學士 森定吉
內科 小兒科
芙蓉醫院
京城本町三丁目 丸萬會社向側 電話二六三番

九月十三日九星
舊七月廿七日戊午
本命三碧 東開 先負

▲三碧 喰わせ主義の事有日新事見合ふの方 ▲四綠 丁度よき日 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 多忙な事有日新事手控 ▲七赤 不所存 [illegible] ▲八白 不相手な事多き日新事手控 ▲九紫 上達繁利の日 [illegible] ▲一白 めでたき日 [illegible] ▲二黑 [illegible]

美人のきず
くせ毛ちゞれ毛は美人のきず
生れつき髮が悪くて是迄色々お困りの方にも私がきゝめが無くてお困りの方に髮結としても最も致すべき効力ある美髮液を今迄試みた方にもお勸め申す是非一度御試用下さい
料一圓 [illegible]
東京市麴町區三番町 [illegible]

わきが
特効藥フアーザーを御試用下さい
[illegible]
京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房
電話一九四九

演藝案内

本町五丁目 稲荷座
浪花節 [illegible]
▲有馬猫化騷動 [illegible]
○入場料 一等二十五錢 二等十五錢

有樂館
[illegible]
○人情劇「花の曲」[illegible]

明治町 浪花館
電話二六〇
大阪女流太夫界の花形 [illegible]

黄金館
電話二三六三七・二三六六
[illegible]

京城本町 壽館
電話一〇五〇
浪界の女王吉田小奈良一行
▲中江藤樹 ▲眞女お律 ▲孝子安吉 ▲飛行吉平 ▲文七元結 ▲水戸黄門記 ▲殿中刃傷より田村邸切腹場迄 ▲勝麻新左衛門 (吉田小奈良)

櫻井町 大正館
電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店
九月七日より特別大興行
[illegible]
○連續「中將の娘」[illegible]

世の中は

めくら千人…………
めあき千人…………

産前、産後、血の道、子宮病に
無比唯一の特効藥たる
靈藥 中將湯を

知らない方が世間にはあることを知ながらカレコレ迷ふ方があるとのことホントに盲目千人目明千人の世の中です

△タツタ一言▽
藥効本位で

當に第一位の資格を保つ我が中將湯は妹に廣告的の何を並べて、信用を與ふることを致しません代りにこの際一層藥質を吟味して御愛顧にそむかぬことに致します。

無代進呈
天木醫學士著
婦人病一切の手當法詳細にせる實本二錢切手封入御申込次第何人にも進呈

定價
[illegible]

東京市日本橋區通四丁目
津村順天堂本店

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店

中將湯は世界到處の藥店にあり市内配達無料

京城日報 第三版
九月十二日 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月分四錢
廣告料 五號活字一行金八十錢 ……
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 ……

投機熱流行の大連
土地熱が馬鹿に昂まる

△大連の土地熱は今や殆んど絶頂に達し昨年中坪六七圓のものが其の十倍以上の七八十圓といふ法外の相場となり隨つて借地權轉賣に狂奔するもの多く其の醜態眞に厭ふべきものあり大連市街地の斯く暴騰せるは近來市の發展殊に著るしく土地狹隘を告げ來れる結果なるも一は例の惡ブローカー連が此間に跳梁飛躍して徒らに土地投機熱を煽動する故なり地上權の設定せられある大山通若くは浪速町などの目拔の場所に至りては坪二三百圓を唱へ猶ほ狂騰せんとする趨勢を有す

△大連の市街地は他の州内の土地と共に總て官有にして其の市街地を借受くるものは家屋建設を條件とし坪平均五錢位にて謂ゆる借地權を獲得せるものなるが内には土地の騰貴を見越し其の借地權を轉賣して利輸を收めんが爲めに今日まで其借地を徒らに空地として放置せる者あり此内には事情止むを得ずして其儘に附せし向もあれど斯る不眞面目なる者ありし爲め空地のあるに拘らず土地狹隘を來し眞面目に家屋を建設せんとする者に迷惑を感ぜしめたること一方ならず今日は建築材料の暴騰せる爲め家屋建築をなすに有利ならず隨つて家屋の轉貸を望むもの多く一方土地の狹隘と相待つて斯くは地代の騰貴を見るに至れる次第なるが此間に於ける惡ブローカーの所爲は眞に憎むべきものあり近く制裁を加へらるゝに至らん

△借地權賣買は當初より默認せられたる事とて今更奈何ともする能はざるが此際之れに對して相當制限を設くるの必要あるべく或は土地銀行の身代りたる東拓會社の滿洲進出を待ち多年の問題たる關東州土地制度の改革を斷行し其の官有地を一定の價格に拂下げ土地所有權を認許し一方土地投機熱又は土地買占め等の弊害を防ぐ爲め彼の土地增價税を實施すべしとは昨今大連有力者の間に唱へらるゝ有力の意見なり借地權の下に於て既に殆んど土地所有權の下に行はるゝと大差なき迄に地價の騰貴を見つゝある今日寧ろ進んで土地所有權を認定し一方斷乎たる土地政策を樹つるは蓋し賢明の處置ならん恐らく當局に於ても其邊の考慮はある事ならむ

△軍用地の開放 もまた此際に於ける一急務なり大連市の東方東公園町附近より寺兒溝方面にかけ約七八十萬坪の軍用地區の存するは軍事上相當の理由ある事ならんが市の發展に一阻害を與へつゝあるは掩ふべからず斯る廣大の土地を有しながら土地狹隘を來たし土地投機熱を起さしめ徒らに地代を暴騰せしめたる一原因は僅かに此の軍用地區の頑張り居るが爲に外ならず去れば民政部に於ても夙に其の開放に就いて交渉する所あり參謀本部にては前年態々吏員を派し調査せしめたる結果大體に於て開放に同意せる由なるも地上建設物たる倉庫其他の處分と其の代償とに今一ツ轉換地の如何が問題となりて今に決行せられざるなりと云ふ併し其邊の工夫は民政部に於て如何樣にとも爲すを得べければ早晩開放を見るの時期到來すべし

△投機熱の流行 は兎に角大連に於ける昨今の病的現象にして當に土地のみならず株又は銀相場に夢中となりて肝腎な本業を其方除けにし或は利し或は損し血眼となりて狂態を演ずるもの所在に尠なからず近來眞面目なる種々の事業も起りつゝあれど其の反面に於ては此の如き不眞面目なる投機熱も高まりつゝある始末にて是れは固より一時的變象ならんも心あるものは竊かに其の前途を憂慮し居れり(大連)

竹磎詞家は逝けり
今關天彭

私は今日(十日)森川竹磎氏の訃音を手にした。氏は私の先輩であると同時に私の心友である。相見ざること茲に十箇月に及べども、雁鯉の往復は、月に三度を缺かぬ程であるから、今日訃音を手にしても、之れが實事と思はれぬ。されど氏とは已に幽明、境を異にした。私はために尠からず感動した。

氏は弱冠の比、森槐南門下の四星として詩界に名を馳せ、その才力は正に故野口寧齋と匹敵し、大いに世間から期待されたのであつたが、氏は幕府旗下の名門に生れ、狷介孤高、塵俗と合はざるものがあり、詩界を退いて東京の郊外に閑居し、北を蒔き竹に灌ぐこと幾年、槐南先生の歿後、その遺著を整理するかたはら、大正初年に於ける詩界の弊風に憤慨し、高野竹隱、木蘇岐山の諸氏と相謀り、月刊雜誌『詩苑』を發行して漢詩の正しき道を明かにせんとし、蒲柳の質、能く絹槧の勞を忍び、まさに滿三年に垂とし、遂に今回となつたのである。實に惜しい事をしたのである。氏は詩人としてよりも詩餘家として名聲が高かつた。然り、氏は實に詩餘を以て生命として居たのである。我國にて詩餘を作つたものは、田能村竹田の外、寥々として晨星の如くである。だが竹田とても小令が漸く手に入つた位であつて、詩餘家としては何等特筆するに足るものはない。かつその著塡詞圖譜とてもザツとした初學の事に過ぎぬ。然るに氏は我國に詩餘あつてより以來第一の地位を占むべき作家である上に、詩餘に關する一大著述がある。即ち詞律大成二十卷である。この書は清の萬紅友の詞律を修補して大成した體裁を取り居るが、内容は全然一新せられて居る。氏曰く『幾閲二十年而成、然獨力所致、見聞不廣、遺漏訛錯、知亦居多、按萬氏詞律、成於嶺外、所見之書無幾、而其高見卓説、超越千古、今余淺學菲才、而漫然補、得罪於萬氏者多』と。氏の謙懷にして苟くもせざる態度が紙上に能く現はれ居るではないか。かくて氏はこの著述のために一生の心血を傾倒し盡した。この書の價値は音韻學詩學に精通する人の深く敬意を表するのみならず、支那の詩餘家も餘程敬服して居る樣で、私の嘵々を要せぬところである。氏が詩苑を發行したのは、一つはこの書を印刷したい希望があつたからだ。發行の當時、氏は私に向つて、七年の日子を要したら、この著述を刊行し終るであらうが、その間自分の性命が續くかどうかと云つたことがある。今や詞律大成は僅かに卷八の初めを印刷したのみで、氏の生命は已に續かぬ。氏の無い後にこの原稿を整理して完璧となる人は殆んど無いであらう。私はこれを思うて涙を禁じ得ぬのである。あゝ氏は人間を辭して白玉樓中の人となつた。私は氏の最後の作とも見らるべき瑞鷓鴣の一闋を徵吟して、この限りなき哀悼の意を寄せる。(九月十夜)

瑞鷓鴣

暗地遊蹤。成方便風流小玉情深。倘憐無語。背月微吟。解道春宵一刻。千金。春去也人遙夢杳。緑葉成陰。和淚滿衣襟。有酒重思量。惹恨難任。從別後一向魚雁沈沈。歎息雲乖雨誤。孤負百年心。無計向天涯海角。問信音。

誰
布施生譯 (64)

河も渡り丘も越た、姫はだん／＼と進んで昨日數敵が驅拔けた果林の入口に差覔つた、此處から樹の下の小徑を縫ふて進めば自然に侯爵家の正門に出る筈である。姫は勇んで來覔ると、丁度侯爵家の召使の戎五にばつたり出會せた、戎五は四十年餘も侯爵に仕へて貴族向の行儀作法で頭の固まりきつた男である、隨つて無つたい程慇懃なので有名な男であつたが、此時はどうしたのか姫の姿をみるなりつか／＼と大股に步み寄つて帽子も取らずに『やあ姫樣、お邸へお步行でござらつしやるかの。』と問ひかけた、姫は柔和しく、『はい。』と答へると戎五は澁面作つて、『若樣をお訪ねなら御無用でござりまするぞ若樣はお逝去に相成りましたわい』何やら當付がましく言はれても姫は氣もつかず『いゝに、若樣もや無のよ、妾がお目にかゝりたいのは侯爵樣なの。』『大殿樣もお薨去でござりますわい。』と戎五は嚴めしい口調で反覆して『昨日若殿樣が捕手に迫はれて河に飛込んでお逝去になると、言はなくとも可い其事を手柄顏に大殿樣のお耳に入れた者がござりましたぢや、それをお聞き遊ばされると大殿樣はあつと仰せられたが踉蹌と／＼して御抱留申す暇もなく、どしんと丁度庭の大木が暴風雨に根拔ぎにされたやうにお仆れ遊ばされたので、ござりますわ、それから大急ぎでタラソンから御醫者樣を迎へましたがもう何と手の附けやうもなく、大殿樣は一日に父子二人まで、あゝ之を聞いたら千振の奴等は嘸喜ぶ事だらうな。と仰せられたまゝ呼吸をお引取に相成りましたのでござりますぞ。』

姫は聞く毎に胸潰れた、分けて侯爵が最後の言には何とも云へぬ程悲しかつた、せめて數敵が不思議に生命の助かつた事を此忠義な老僕にも知らせやうかと思つたが、分別深く思返してかれは喉息にも出さなかつた『そんなら弟御樣の利介樣にお目に懸りましやう。』と云ふと戎五は大きな眼を剝いて『は、飛んでもない、そんな事は決して相成りません、第一私が承知致しませんわい、愚圖／＼なさらずにさつさとお邸へお還りなされ、もしや誰か邸の者に見付かつたら如何な事をするか知れませんぞ。』姫は流々引還した。

道々村の人に種々な眼で見られるのも耻かしく姫は疲勞も忘れて疾足に邸まで還ると、腰元の美保女が心配顏で門口まで出て待て居た『姫樣、大變でございます、何かの樣子は悉皆奥方樣のお耳に這入りました奥方樣は大層な御機嫌で先刻から何度も姫樣をお召遊ばしてゐらせられます。』豫期した恐ろしい日は思懸ない事でとう／＼來たのであつた、タラソンの町での騒動から盛部家の計略數敵の最後まで思掛もない珍らしい事柄は田舍を搖つて騒がせた、其話柄の新しい香が褪めぬ間にと態々報知に來たおせつかいがあつたので伯爵夫人は程なく其一伍一什を聞いて知つた、夫人は其事柄が姫に關係があるのを知つて驚くと共に、娘の外聞を氣遣ふよりは寧ろ其風評の爲に乘々心懸けてゐる嫁入口に故障の出るを氣遣つた、拙夫人は娘の容貌を圍鳥に金滿家に高く賣付ける心組でゐたのである。

雜誌抄

◆簡易松茸繁殖法(副業の研究)林地で傘の開いた松茸を求め適宜の大きさの劃に(繊維の方向に)切りボール函で宜し)へ乾いた土を敷て其の上に松茸を並べ、松茸の傘の裏のヒダに生じてゐる胞子を其の土の上に落下せしめ、之に水を混じて出來た泥土を雜利土の間に極め顆粒の蔓延する處を選んで蒔けば自然に松茸が發生するものである

◆九十貫の襤褸から四百圓の貴重品(婦人畫報)襤褸から藍を取るには、紺足袋とか股引の切れたのや、半纏の汚れたのや其他何でも藍がかつた切地の襤褸を大釜に入れ、苛性曹達を加へて炊た後ち其の蒸汽を鐵管で別の釜へ移し之に硫酸を加へて藍を沈澱ませるのであるが此の方法でやると九十貫目の襤褸から六貫目の藍が採れて、九十貫目の襤褸を時價七十何圓、藍一貫目七十三圓とすれば九十貫目の襤褸から四百圓以上の藍が採れる譯である

高値 安値 止の
第三版
二〇、四〇 一九、七八
二〇、三五 一九、八三
二〇、四〇 一九、七六
一九、八三

▲移[illegible]限日十七圓二十五錢七錢六錢七錢六錢二十六錢二十六錢五錢四錢二十五錢
▲十一日後場氏[illegible]後寄二十圓〇九錢東京二十圓〇八錢大阪前止 十圓七十九錢後寄八十の入電にて當地當限寄付き七錢と跳ね十七圓二十五錢と同[illegible]
七錢[illegible]押したるが翌日は又[illegible]他より買[illegible]敗止高を受け[illegible]一向利かず二十五錢[illegible]附かず依然保合にて變動[illegible]時迄斷る狀態な持續するな

▲中取組漸減
▲[illegible] 同店の買千餘石
▲[illegible] 同店の賣千餘石
▲[illegible] 同店の買千餘石
一時十一萬餘石の大取組となり市場[illegible]るには非ざるな[illegible]

▲仁川現[illegible]界
[illegible]天候の不良にて南[illegible]賣行はれず[illegible]

平均値段
[illegible]一等 二百四十三百五十石 十七圓二十六錢
二等 十七圓二十五錢
三等 十七圓二十五錢
四等 十七圓二十五錢

[illegible]分響平安南北道沿岸及び内際[illegible]羅各南道沿岸の警戒を解除す

●藝妓の狂言自殺 本年五月迄京城旭町[illegible]に年二百五十[illegible]岡市外春吉町株式業阿部圖藏(三五)と夫婦約束迄出來六日夜落籍の相談を迫りた[illegible]商人より刎ねつけられし[illegible]なかるべしと[illegible]され[illegible]手當を受けて生命[illegible]狀

關東 最上醬油
大見切臨時販賣
大樽二百挺に限り
一升に付金參拾錢
普通價格六十錢のもの
容器一切御貸不申御持參の事、多數量御買上も値引せず
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番二四八番 振替京城二九番
龍山陸軍構内 佐藤牧用達部 電話五二九番
龍山漢江通二丁目 佐藤牧支店 電話四二九番

十月號
幼年の友
郊外遠足 國府の臺 …だん／＼涼しくなりましたけふ秋ばれのよいてんきです…皆さんとくろうでしたけれど少々ほどをいたしませう
二重人形 運動會 …樂隊、見物人、緣門、一等賞品授與、走者、審判官…これからがみな二重になつて立つやうに出來てゐます
このほか
●おゝ大變だ／＼
●おばーさんの眼鏡
●赤とんぼうと唐辛
●ネルソンの最後
●赤い甘柿澁い背柿
●金魚の親子對面
一冊十三錢 税五厘
東京市京橋區南紺屋町 實業之日本社

一等割增金貳千圓附、最初五箇年は年二回抽籤
初回くじびきは本年十二月(割增金總當り)
●第六十六回勸業債券(四分利 拾圓券)賣出
●來る九月十五日より三十日まで
日本勸業銀行及各地代理店、取扱店並に郵便局にて

天覽台覽
大字典
樣式の新新と內容の完全と收載の博大とを以て國漢字書界のレコオドを破れる空前の字典
上田博士 岡田教授 飯島教授 榮田先生 飯田先生 共編【全一冊】
見本進呈 定價金七圓也
●送料 朝鮮五十五錢・臺灣四十五錢・內地二十四錢
東京日本橋本銀町 振替東京二〇二五五 啓成社
京城振替二七三 大阪屋號【賣捌】

當工場製作各種鑛山機械は朝鮮物產共進會に於て一等賞牌三鐵狀を褒賞授與されて朝鮮工業界に於ける最初の光榮を受賞したる者たり

何れも新品同樣當工場在庫
立型六呎徑外國製長十二呎 一個
水壓封度百五十
同上 長五呎三徑 一個
水壓封度百四十
同上 長六呎六徑二呎 一個
水壓封度百五十
同上長徑三呎七 一個
水壓封度百六十
ブュラーボイラー 長六呎三徑六呎 一個
水壓封度百六十
コルニッシュ型 長十三呎六徑一呎 一個
水壓封度百五十
京城岡崎町 中根工場
電話二五六番
南大門通五 中根販賣部
電長一〇四番一〇五
□當店は物價低廉の際輸入在庫品豐富に付先般來日本へ移出中の所船腹不足の爲め是又時日を要するを以て今回朝鮮內に於て一大放賣を決心し既製品の賣價は勿論加工鐵工一般の業務を廉價に御注文に應じ候間何卒御用命願上候

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂
電話一二〇〇番 振替京城三〇四番

京日案內
普通 五十錢 番外 壹圓(三行廣告)
●金融 官吏商人の方大小口共迅速貸出 極秘黃金町一の一九三朝鮮ホテル左側支那料理店金谷園裏柏屋金融部 550
●賣家 所在並木町一八三宅地九十八坪和鮮兩様の家屋溫突付水道に便御希望の方は右に御出を乞ふ 551
●店員募集 廿六七歲迄醬油販賣に相當經驗ある者本人來談 京城大和町二丁目高橋醬油釀造所 552
●給仕採用 滿拾四歲以下內地人にして志望者は自筆履歷書携帶本人出頭すべし 京城稅關出張所 554
●牛乳配達人募集 內地人にして市內に身元保證人を要す 蓬萊町四(電話五二二番)東亞牧場 548
●石版二號機械二臺●石其他附屬品一切廉價賣却▲希望者照會あれ 鉄海 加來商店 543
●店員入用 但し市內確實なる保證人を要す希望者本人來談あれ 京城吉野町一丁目 友田運送店 544
古本買受申候 御報參上電三〇五〇番 本町一丁目(明治町通)野村書店 525
番外
◎內外務事務員數名募集 報酬手當は經驗に依りて面談 希望者は電話一四〇五番へ 555
◎有給外勤募集 履歷書携帶本人來談 京城黃金町二丁目 有隣生命保險株式會社朝鮮支部 希望の方は自筆履歷 549
女事務員募集 但し數名入用試驗の上採用 南大門驛前通 內國運送會社京城支店 547
◎礦物定量分析 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長二三四四 坂元分拆所 553
公債株式現物賣買 東京合資會社福島商會特約店 京城貫鐵洞 電話一五三三八一番 加藤商店 330
新古金庫 格安販賣並に換買入 京城黃金町二丁目 電話長二四二二番 室商店 507
恩給年金即時現金立替 五年分迄利子後引 四年分迄無保險一割 京城南大門外(御成町) 電話二六八八番 山口屋 509
ゴム風船ゴム寶月ルイト玩具紙細工セロク指サック ランドセル定價表無料送 製造御商太陽ゴム商會 京城太平通 519
恩給年金立替 五年半迄利一割 三年分迄無保險 電話二三九一番 京城若草町一七〇(金光教會裏手) 國江商會 526

○過激派排斥示威運動

露都の人民は一般に獨軍侵入の噂あるは過激派が獨逸と通じたる結果に外ならずと思惟し之れ國家の體面を汚損するものなりとし市內各所に群をなして示威運動を試み反政府者十數名を殺傷せり又莫斯科にても同樣の運動行はるべき模樣あり(露都電報)

○コロニロフ將軍の嚴達

露國總司令官コロニロフ將軍は八日各軍團師團聯隊の司令官に對し軍人の天職を汚し刻下の國際的體面を傷くる者は嚴罰に處して假借する所無からんことを嚴達せり(露都電報)

○露都敵の來襲に備ふ

露都にては今や出來得る限り敵の來襲に備ふべく之れが準備を急ぎ市內各所に掲示されたる貼札は市民に對して痛烈なる警告を與へつゝあり而して軍隊は引きつゞき戰線に向ひ目下續々露都の市街を通過しつゝあり(露都電報)

○秘密文書電送暴露

英佛政府の憤激=瑞典の說明如何

瑞典國外務省が南米亞爾然丁駐剳獨逸公使よりの秘密文書を獨逸に電送せる事實暴露せる爲英佛兩政府の憤激一方ならず瑞典政府より遺憾なき說明を與ふるに非ざれば到底滿足せざるべしと觀測せらる(倫敦電報)

○南方軍作戰準備

最近の情報に據れば長沙の譚延闓氏は若し傅良佐にして兵を率ゐて南下するに於ては一度杭州及び永州方面に退却して兩江の援軍に會し傅良佐を殲滅せんとの決心なりと又た廣西第一師の主力は湖南の境界なる衡山に進軍したるもの、如し廣東にては北伐軍の準備未だ完了せず雲南軍は出發後軍費の補充に困難なるため之を福建方面に向け林虎等の混成二旅をして湖南に赴援せしむべく準備中なり(上海電報)

○重要外交審議

第十二回臨時外交調査委員會は十一日午前九時より首相官邸に於て開會したるが重要なる外交事項に就き考量審議せり(東京特電)

○鮮鐵工事費公布

十一日勅令第百三十二號を以て朝鮮國有鐵道建設及び改良工事を滿鐵をして施行せしむる爲め必要なる工事費は概算渡しとなすことを得る旨公布

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○自から誇りて、獨逸精神の模型に投せんとするは、愚の至り也。されど之に反して、亦た所謂る泰西文明に心醉し、英米人士の說法に隨喜し、人道實に此に存すと做すは、是亦た一個の應聲蟲のみ、雷同兒のみ。

○力の福音を惡用したるは、獨逸のみ。然も是れ力の福音其物の罪にあらざる也。人道主義を假用したるは、歐米諸國のみ。然も是れ人道主義の罪にあらざる也。

○世界の短を棄て、世界の長を採るは、我が帝國の國是にあらずや。されば吾人の眼中には、獨逸流もなく、英米流もなく、苟くも其の善ならざるは之を改め、其の善なるは之を學ぶ可きのみ。此の如くして世界的精神を吸集し、攝取して、日本的精神と做すを得る也。此の如くして日本國民は、始めて日本的文明を、把持すと云ふを得可き也。

○古語に曰く、爺の則を使ふ者は佳兒にあらず。師の門に倚る者は好弟にあらずと。獨逸何者ぞ、英米、佛伊何者ぞ、世界列國何者ぞ吾人は自から偏窮、執一の見に泥んで、空しく他の糟粕を嘗むるなきを要す。他國相互の口論に頓着し、自個の本領を沒却し、血眼になりて、熱狂するが如きは、是れ他人の痛氣を、頭痛に病む者よりも愚也。

●南滿製糖其後

南滿製糖會社の諸般設備は大體決定……

▲多少の遲延を來 すやも知れず工場附屬の事務所一棟、倉庫三棟、社宅、獨身宿舍、倶樂部……工完成せしむる豫定なり……定通り四萬一千三百……

▲甜菜畑の總面積 は最初……

甜菜栽培成績は最初より旱害に次ぐに蟲害水害等を蒙り良好ならず而して現在の甜菜は多く……表す……事不可能……に於ける調……同社既往三回……地(十畝)……約八千……

……商業會議所にては八日午後二時より新築工事委員會を開催し凝議する處……▲客月……八月中……

……十三圓輸移入重要品價額五千圓以上に上たるは粟六千百〇一圓小麥粉七千二百七十五圓食鹽七千二百八十……

……十四圓……六千〇四十圓なりし▲……

●破戒僧强盜と變じ……

○保險局長任命

戰時保險局官制實施に伴ひ十一日左の如く局長の任命ありたり(東京特電)

任戰時保險局長 農商務省書記官 片山義勝

○醫科大學長更迭

東京帝國大學醫科大學長醫學博士青山胤通氏は病氣の故を以て辭表提出中なりしが九日附を以て依願免職となり同大學教授隈川宗雄氏其の後任に補せられたり(東京特電)

○四鄭鐵道一部開通

四鄭鐵道は四平街八面城間の工事終了せるを以て此の區間に對し建築列車を利用して旅客の便乘取扱を開始したり(奉天特電)

○軍司令官動靜

松川軍司令官一行は十一日馬山通過陸路晉州へ向ふ(馬山特電)

○中村都督本溪湖行

中村關東都督一行は十一日奉天發本溪湖に向ひて出發したるが張督軍は午前八時旅館に都督を訪問し歡談約一時間の後一行を奉天驛に見送りたり(奉天特電)

●東拓正金交涉

滿洲特貸の授受問題

正金銀行滿洲支店出張所の不動產に對する特種貸附二百餘萬圓は十月一日以降東拓の滿蒙進展に伴ひ會社に對し其の全部の引繼讓渡をなす事に決定し居れるが東拓の進出期切迫に伴ひ目下東拓と正金銀行間に於て其の特貸權の授受に付交涉を重ねつゝあり尙ほ授受期は十月に入るべし

●滿洲事業界の打擊

銀高に伴ふ勞銀の騰貴

●鮮人勞働者移入の擧起る

天井知らずの銀塊相場は四十八片より騰て五十片を扳かんとする氣勢に在り金と銀とは今や殆んど其の位置を轉倒するに至れるが之が爲めに滿洲に於ては勞銀支拂に困難を來たし延いて事業界に種々の影響を及ぼし其の打擊一方ならず殊に

▲支那人勞働者 を多數使用し居れる大連埠頭の如き營口の東亞煙草製造所の如き安東縣の採木公司の如き何れも銀勘定にて勞銀を支拂はざるを得ざる爲め其の損失至大なるものあり採木公司の如きは既に百萬圓近くの支拂超となれる由なるが營口の東亞煙草製造所も其の職工は悉く支那人にて銀勘定の下に之が勞銀を支拂ふに至りては其の收入に莫大の缺損を生ずるのみならず諸物價の騰貴に伴れ製造用の諸材料、ライスペーパー、口紙、ボール等何れも皆三倍以上の價格となり吉林にて原葉を仕入るゝにも今日は從前の二倍以上の費用を要する爲め殆んど利益を浮かす途なく非常に困却し居れる模樣なり、大連埠頭の荷役苦力を請負へる福昌公司も銀高に伴ふ勞銀の騰貴に依り一方ならざる苦痛を感じ居るが如し

▲滿洲の事業界 は勞銀低廉にして且勤勉なる支那人勞働者の存在することが其の重なる强味の一なりしに夫れが今や銀高に伴ふ勞銀の騰貴に依りて實際上從來の如く低廉なる勞働者を供給し難き事となりたれば當に多數の支那人勞働者を使用する事業のみならず他の一般の事業にも延いて種々の打擊を加へ或者の如きは滿洲の事業界も之が爲めに一大崩壞を來たすべしと極度に悲觀し居れり勿論此の如きは餘りに悲觀に過ぎたる杞憂なるべきも影響の甚大なることは爭ふべからず撫順炭坑は幸ひに金勘定にて坑夫其他の勞銀を支拂ひ居る爲め甚しき困難は是なき模樣なるも其れすら支那人勞働者の鼻息荒き爲め多少の苦痛は感じ居るものゝ如し猶ほ

●鮮銀東拓提携

朝鮮銀行の滿洲支店出張所(大連奉天を除く)に對し東洋拓殖會社は十月一日以降其の不動產金融の代辨を依賴する事は鮮銀東拓兩最高幹部間の意志既に疏通し居れるが其の代辨依賴に關する細目については東上中の高瀨理事歸京の上朝鮮銀行との間に協定せらるべしと

●紡織殘株二千

朝鮮紡織株式會社の株は全部發起人に於て引受けの事となり創立委員會日比谷平左衛門氏より三井物產藤野省三氏に宛て朝鮮に於ける資本家に同會社株希望者の爲め約二千株を殘存し置くを以て此の際有力者の引受を望む旨申來れるが希望者は來る十六七日迄に同會社拂込指定銀行たる朝鮮銀行、第一銀行京城支店、漢城銀行より用紙を受取り手續を了すべしと株引受の內朝鮮に關係ある主なる人々は野田卯太郎、松方正熊、大橋新太郎、山本條太郎、茂木惣兵衛、荒井泰治、志方勢七、山中隣之助氏等にて千株乃至二千株の引受を爲せりと

▲野菜、果物鷄卵 の類は何れも支那商人より其の供給を受け居り從來極めて安價なりしに今日は之を高き銀の値にて買求めざるを得ざるを以て總て二倍以上の騰貴を來たし鷄卵の如き是迄は十個十五六錢なりしに今は三十四五錢となり殆んど倍以上の價格となり野菜も果物も皆同樣なる爲め一般の物價騰貴と相待つて在滿邦人の生活は愈々益々困難を加へ來れり加ふるに小銀貨の大缺乏を生じ日常の小買物に非常なる不便を來たせるあり旁々生活難の聲は到處に高まりつゝあり

▲朝鮮人勞働者 を滿洲に移入せんとは銀高に伴ふ支那人勞働者の勞銀支拂に惱める一部事業家の昨今考へ居る問題なるが偖て如何にして之を實行すべき乎に就ては未だ成案なきもの、如く目下の景氣迷ひの姿に在り(大連)

●移民應募增加

第八回東拓募集移民の八月末に於ける申込狀況を聞くに其の本年より實行せる對人勸誘の功果並に會社移民規則改正のため移民優待の事となりたる結果と見て應募の好況從來の記錄を破り頗る好況を示し居れり乃ち同社受理の申込現計は第一種自作移民九百五十八戶第二種地主移民百十一戶合計一千零六十九戶にして殊に九月に入り下の關出張所の受理激增の模樣に付本年の應募總數は遂に募集戶數を超ゆべし尙同社殖民課にては近く其審査に取り掛るべしと

●客月京城商況

朝鮮銀行の調査

京城の八月中に於ける商況に付鮮銀の調査を聞くに

▲內地期米 は小波動を免れざりしも依然比較的高調を持續したる爲め鮮內各地を通じて手堅く保合の內に相當の移出を見たり唯先物は大體に於て內地朝鮮共豐作見越しにより軟弱を免れずと雖も仁川定期市場に於ける正米筋買煽りのため鮮地に於ては內地に不出合の

▲高値を持續 せり又大豆の滿洲に於ける買占の結果による暴騰と內地在荷の減少とは相俟つて比較的格安なりし朝鮮物の昂騰を促したりしも時恰も端境期品薄の折柄とて多量の輸移出を見るに至らざりき、更に一時沈衰裡に經過せし牛皮は露國軍用長靴大口の注文のため漸次活況を呈するに至り且つ生牛も內地需要旺盛の結果

▲移出の盛況 を促したりと雖も關釜連絡の輸送力不足のため釜山驛頭に於ける其等の滯貨今尙ほ甚しく少なからざる狀態にあり一般に移出手控への傾向にあるもの、如し

▲金融小康 支那に於ける原棉の拂底と內地投機筋の買煽りの結果一時大暴騰を現出せる綿糸布は昨今三品市場に於て惡落と夏枯需要不振期との結果鮮內に於ける荷動き捗々しからず從つて此方面の資金需要亦大ならず且つ前月來出盛期にありし夏繭も八月末に入りて一段落を告ぐる等金融は小康を保ちつゝ越月せり

●小荷物稅金代辨

九月一日より南大門仁川平壤三驛及び朝鮮鐵道北京天津兩驛との相互間に小荷物聯絡運送を開始せることは既報の如くなるが同小荷物の通關は鐵道に於いて之を代辨し當分の內安東に於いて輸入稅と同時に抵代稅(有稅品は輸入稅の五割無稅品は從價二分五厘)を代納することゝなれり右抵代稅を納付したる物品に對しては支那內地に於いては他の諸稅の賦課を全然免除さるべしと

●參謀本部員調査

陸軍參謀本部員步兵大尉眞瀨二郎同部附陸軍編修書記佐三千雄の兩氏は文祿慶長役戰史編纂の爲め之れが實地踏査及び史料調査を兼ね南鮮蔚山晉州四川等の戰跡を踏査九日入京し目下大觀亭に滯在京龍附近に於ける史料蒐集中なるが兩三日中に平壤方面に向つて出發の豫定なりと

●京城組合會議

京城學校組合に於ける現下の一問題たる龍山新設小學校に關する豫算更正及び追加の件は去る七日委員會を開き附議せる結果大和與次郎氏一名の贊成ありたるに對し深水田中大村石川四氏の反對ありし爲め遂に原案を否決し更に追加豫算中歲入臨時部第一款繰越金及び第一項前年度繰越金追加豫算額七千二百九圓とあるを二千百六十三圓と修正し同追加豫算中歲出經常部第八款基本財產造成費は原案に同意せるを以て十二日午後三時より組合會議場に於て本會議を開く筈

●秋繭販賣成績

京畿道にては管內に於ける秋蠶繭共同販賣を十日漣川にて施行せるが入札人員七人あり而して重なる落札者は朝鮮蠶絲日東社尾澤組南海繭絲商行等にして當日の販賣總量は七十石あり其成績一石に付き左の如し

特等七十八圓▲一等七十二圓六十錢▲二等六十八圓▲三等六十二圓六十錢▲四等五十五圓

●穀物商大會と歡迎

既報の如く朝鮮穀物貿易商大會は來る十五日開會の豫定なるが當日長谷川總督より茶菓の饗應ある由にて十六日午後よりは花月に於て京城穀物商の歡迎會あり尙十七日午後より懇親會を開催すべしと

●安達公使出發

入京中の安達金權公使夫妻(白國駐紮)は十二日午前九時十分南大門驛發北行列車にて出發赴任

●早川旅團長入京

平壤駐劄步兵第三十九旅團長早川陸軍少將は十一日夜入京巴城館に投宿せり

●鹽澤警務部長歸任

去る七日京城出發楊州漣川兩郡管內分隊及び分遣所檢閱の爲め出張中の鹽澤京畿道警務部長は十一日午後五時南大門驛著列車にて歸任せり

●東拓奉天支店長

東洋拓殖會社の奉天支店長は臺灣銀行員吉野小一郎氏參事として入社就任の事に決定せり

●赤愛本部修繕

赤十字愛國婦人兩朝鮮本部事務所は數年來破損雨漏りの個所尠からざるより愈々內外の修繕に決し既に之に著手せり

人事消息

▲二宮德氏(東拓移民課長) 南鮮移民狀況視察中の所十日歸京せり

▲笠井健三氏(東京實業家) 十一日夜入京朝鮮ホテルへ

▲藤田虎之助氏(東亞煙草會社員) 十一日夜南滿へ向ふ

▲鹿園教育視察團四十一名 同夜入京原金へ

▲海藤省吾氏(丹見運送株式會社長) 十一日夜京浦尾へ

▲久米作藏氏(釜山貿易商) 同上

囗百聞百種囗

キッチナー元帥が前年訪露の途中オークニー沖で乘艦ハンプシャー號と共に北海の藻屑と消えたに就ては▲多分機械水雷に觸れたものだろうとの想像であつた處が今度之れは前露國皇后の仕業であつたと云ふ事が傳へられて大分世間を驚かして居る▲何でも其當時吉元帥の訪露出發日は頗る秘密であつて▲英國側では皇帝と總理大臣と二三の閣員と少數の陸海軍高官だけしか知らなかつた▲英國は元帥の先發前特使に秘密報告書を授けて露國陸軍大臣に元帥訪露の詳細を通告させた▲が之れが抑もの間違ひを惹起する基となる事は神ならぬ人間の知らう由もなかつた▲露國前皇后は此の特使が來た事を聞くと直に陸相の一秘書官を呼び▲無理やりに强いて元帥の使命を聞くと例の怪僧ラスプーチンを一間に呼び▲密議數刻に及んだ後宮中にある皇后の秘密無線電信で伯林に其の旨報告した▲獨逸では早速潛水艇隊をオークニー沖の元帥通路の海中に遣つて▲ハムプシャーの來るのを待ち受けて居た一齊魚雷襲擊をやつて擊沈した▲露都で此の報を得た皇后は小躍りして喜んで其の喜びの餘り浮かり寵臣に事實を洩らした▲其れが何時しか宮中一ぱいに傳つて後には一般に知れ渡つたと云ふのである▲今や廢所の月を眺めつゝある皇后も餘り人を呪ふ事は出來まい

●書畫賞玩家の好伴侶●書畫學習者の良師友
●書畫鑑定の指南●書論及詩文講義の模範

顧問 石川鴻齋 主筆 杉原夷山

書畫叢談

每月一回發行 九月號

一部稅共廿一錢 半年分一圓廿錢 一年分二圓卅錢

●口繪 和漢書畫珍品及現代大家作品●日本美術の價値、三宅米吉博士●日本畫の權威、金子堅太郎●古畫の研究、瀧口博物館美術課長●東京美術學校教授●華山先生五輯圖、石川鴻齋●書畫隨錄、海野たる文人畫家、高田叔藏●篆刻指南、金田香邊●永海の話、松井友吉●誰れも源友邦●芥子園畫傳講義、石川鴻齋●名家の手紙(探幽一齋樂子孫)●書法講話●大儒遺墨鑑定便覽、杉原夷山●唐詩摘解、故廣瀨淡窓●現代名家詩文

發行所 東京麻布區森元町一丁目九番地 振替東京三七五一二番 中行社

來る九月十五日(土曜日) 於龍山練兵場

婦人スミス飛行大會

入場料 一等金貳圓 二等金壹圓 三等金五拾錢 四等金三十錢

婦人諸君の爲めに十一日より特に四等券發賣致候

大僧正 本多日生師著

修養と日蓮主義

洋裝三五判總入 正價九拾五錢 紙數五六〇頁 郵稅六錢 東京本町 博文館

本書は(一)日蓮主義の主張を說き(二)社會問題と日蓮主義を論じ(三)修養と日蓮主義を敍し(四)日蓮聖人と女性を辯じ(五)日蓮主義より見たる大涅槃經を論じ(六)日蓮聖人の信仰を明かにし(七)日蓮主義の使命を說き(八)日蓮主義の體道用道を述ぶ。洞々數萬言、所論嚴正、理義平明、說叙懇切、何人も一讀直ちに日蓮主義の祕奧を悟り以て自己の修養に資する所あらむ。

日蓮主義 四版 九十五錢 郵稅六錢

◎第六十六回新勸業債券發賣

○割增金 一等二千圓十五本 以下千四百八十五本

△初回拂込 十二月一日

△現物渡 一通十圓 十錢

初回申込料金一圓を添へ申込になれば十月中に債券番號御通知します以後月賦金一圓宛

△月賦濟崩賣の便法

○御注意 賣出期間(九月三十日)を經過すると一般市價が高まりますから成べく九月中に御申込になるが御便利です

△當社は從來取扱ひ居ります五十圓、百圓の組合賣へも今回御申込の方に限り新債券を差し加へます

△御申込は地方は振替京城八〇番に御送金を願ひます(郵便爲替にても)市內は御一報次第社員參上します

◎御不用の舊債券は此際特別高價に買受ます

京城大平通二丁目三八六 電話二八三 振替京城八〇番 勸業貯蓄會社朝鮮支部

最新刊 日鮮對譯

警察用語

朝鮮總督府警部 元警官練習所教師 丁奎鳳氏著 袖珍判 定價五十五錢 郵稅四錢

本書の著者は多年京城警官練習所に於て語學教授として令名ありし丁奎鳳氏にして內容を分ちて文法及單語會話の二篇とし會話は普通用語保安警察衞生警察司法警察に分ち丁寧懇切を極む本書が警察用語獨習者に如何に適切なるかは茲に贅言を要せず蓋し此種の語學書中隨一の良書たり

發賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

火災にポンプ ポンプは熊平

全鮮消防組御用 京城本町二丁目 熊平支店 電話四六三四番 振替京城二三二番

……許文せし機械類が時局の影響を蒙りて未だ到着せざる爲め其据付試運轉は豫定よりも……づき猶精糖所(三階建)倉庫二棟……は同構內に新市街社宅約十棟、製糖販賣事務所(二階建)等は本年中に起……む多少相違せるもの及び契約を破棄せるものを生じたるを以て實際栽培面積は總面積より約八分の減少なり

▲本年の生育時日に長短……つ目下尤も成熟作用の旺盛なる時期にて未だ現在を以て數字的豫想を發し……

◉內地で評判の好い鮮人勞働者 神戸を中心に各方面に澤山ゐる

鮮人の勞働者が內地に出稼ぎをはじめたのは下關の宮崎組が嚆矢であるが頃日は殆んど

■各方面に 擴がつてきた、就中神戸には頃日兵庫縣下を合せて約千人に餘る朝鮮人夫が居るが近く南鮮方面から六百人ばかり行く筈である、神戸市內には先づ三菱と川崎に百廿一人、東京倉庫に百五十一人その他播磨船渠や生野銀山等にも働らいて居る

■彼等は 主に荷運び人夫や埋合の埋立工事等に働らいて居るが主に吳の水野組と東京の橋本組等の請負者の下に使役されて居る、神戸の小野濱や脇の濱の朝鮮村は今年の六月以來の新現象であるが昨今では派出な浴衣で內地人になりすましたハイカラ鮮人も尠なくない、人夫の賃金は普通一日が八十錢見當でその上時間の

■割增に よつて貰ふものには一圓五十錢位ゐの收入もある、そして生活費は一日一人二十錢であるから何れも相當な貯蓄も能きる、感心な方では故鄕の朝鮮へ金を送る者もあるがまた丁半で公財布にする向きも尠なくない內地での評判はまだ

■使つて 見てから間もないが概してモッコ擔ぎや土掘り等の力仕事は長所である、賃銀は毎日〳〵その日勘定でなくては納まらず、歸國の用意に强制貯金などをすゝめても皆目だめださうな、人夫の白衣姿は昨今賤なから人眼を惹いて居るが殊に

■紅頭の 女房がバケツに水を汲むで頭にのせてかへるのも面白く夜になつて白い周衣と黑い冠子をかぶつて押し出したところは、なか〳〵上品で夫〻どとは思はれぬと噂されて居る

◉大邱に於ける宗演師

釋宗演師、栃木縣鬼怒川龍光寺住職大野宗達師、二條公令嗣厚基氏等の一行は十一日午後一時十八分大邱著同四時妙心寺の入佛式に臨み一場の法話をなし終つて竹崎府尹邸に投じたるが翌十二日午後一時二十三分大邱驛發急行列車にて京城へ向ふ筈也(大邱特電)

◉宗演師講演日割

臨濟宗圓覺寺派管長釋宗演老師の巡錫に就ては屢報道したる通り十二日午後九時南大門驛著入京の筈なるが滯京中は各所の招待に依り左記日割を以て講演並に禪宗獨特の提唱を爲すことゝなれり

△十三日午後四時總督府俱樂部主催講演(總督府會議室にて)
△十四日午前九時三十分愛國婦人會主催講演(南山本願寺本堂にて)
△同日午後八時鐵道青年會主催講演(龍山鐵道俱樂部にて)
△十六日午前九時提唱(長沙洞妙心寺別院にて)
△同日午後二時京城日報社及び每日申報社合同主催講演(日の出小學校講堂にて)

右老師は十五日は一日清遊十七日午前九時十分南大門發退京の豫定なり

◉スミス下關發

飛行家スミス氏は十一日朝下關發、飛行地は釜山京城群山等連絡船にて釜山へ向ひたるが旅程は十三日釜山、十五日京城、十七日群山にて飛行を試み其れより支那に赴き更に北海道へ引返すべき筈なりしも氏は米國陸軍飛行學校教授となりて佛國戰線に出征することゝなり居れるを以て支那以後の旅程は或は變更するやも知れずと(門司特電)

▲釜山上陸

飛行家アート、スミス氏は十一日夜十時對馬丸にて釜山着多數の出迎を受け直ちに鐵道ホテルに入りたり尙十三日は午後釜山鎭埋立地にて飛行すべしと(釜山特電)

◉二百廿日

十一日午後の觀測 天候一先づ恢復か

十一日二百二十日の朝の天候は夕刊所報の如くなるが其後朝鮮中部以北は大分荒模樣の氣味にて風も中々强く仁川の如きは烈風吹き荒めり低氣壓の主部は朝鮮半島の北部を通過して追々半島を過ぎ去る模樣あるより此の上別に低氣壓の發生せざる限り天候は一先づ恢復するものと見て差支へなかるべし

▲鳥致院の二百廿日 朝來蒸天、東の風强く雲の往來頻繁にて時々雨を誘ひ荒模樣を呈せり(鳥致院特電)

◉支那巡警 我兵に發砲す 大久上等兵即死=犯人搜査中

昌圖、開原、四平街の各守備兵現場に急行す

十日午後八時滿鐵双廟子驛より南方約三十名の一隊我が守備兵三名に對して支那巡警一千五百米突の地點に於て突然發砲し爲に我が大久上等兵は銃彈に中りて即死し他の二名は幸ひにして其場を去り急を本隊に報じたるより昌圖、開原の兩守備隊より一個小隊の兵を現場に急行せしめ四平街よりも騎兵中尉廿名の兵を率ゐて急行し目下犯人嚴搜中(奉天特電)

◉農民卅名激昂 して二名を袋叩きにせんとす

慶南晉州榮町坡重期左衞門は親族喜多彌太郎を監督とし晉州郡大坪面內村里に三十斗落許りの農事經營中近の農民等と意志の疎通を缺き常に紛議の絕へ間無き有樣にて去る七日の事より激論の末農夫を毆打せしより鮮農夫と農場前の河東道路の除草なりしも之れを耳にせる同村農民三十餘名は激昂して農場に押し寄せ前記鮮人を袋叩きせんと包圍せるより助左衞門は川中に飛び込みて難を逃れ彌太郎は飛馬にて晉州署に急報せしより晉州署長は十餘名を急派し暴行鮮人を引致し目下嚴重に取調中なり(晉州)

◆二十代で圓覺寺派の管長となつた釋宗演老師

少年時代=慶應義塾に入る 三井寺に掛錫=印度巡錫= 陣中日記=輕便なる日常

釋宗演老師は越溪和尚に依つて得度したが越溪和尚は老師には俗縁の叔姪の間柄である△老師は少年時代から才氣溢るゝ俊發で叔父の越溪和尚も中々其手に合へぬので備前の儀山和尚に託した△儀山和尚と云へば禪師號を下賜された程の明治禪界の巨匠で和尚の名を呼ばず只だ佛前の禪師さん〳〵で通つた△義堂、滴水、越溪、洪川など云ふやうな明治の禪界に傑出した諸大德は皆この和尚の鉗鎚の下に叩き出されたのであつた△老師も亦この儀山和尚の小僧として其の膝の下に訓練され斯くて洪川和尚の下に就て[illegible]下つたか知れなかつたが[illegible]領下の珠を[illegible]たのであつた△然るに時勢の推移は[illegible]西洋文明の風潮を[illegible]ならぬと云ふので慶應義塾に入つて英學を研究した△[illegible]師は遂に帰洋者に[illegible]なつたのである△老師は又禪坊主の常として[illegible]しく三井寺に[illegible]に雖も[illegible]た△老師が今日[illegible]の巨匠と仰がれ[illegible]り一寺地を拔いて居る所以である△且つ又老師は[illegible]の援助に依つて[illegible]巡錫を決行したことがある△[illegible]を以て大膽にも出掛けたので[illegible]中では自から求[illegible]の勞役に從事し

たりなどした△日[illegible]に著いてから巡錫は一方ならぬ苦心を甞めたもので道中に於ては[illegible]たこと〻[illegible]日露戰役には他に先んじて從軍し親しく戰線を巡錫して戰士の慰問に努めた當時の事情は老師の著作たる降魔日記に詳しいから[illegible]十代で圓覺寺派管長に拔擢されたのである△[illegible]一代に傑出した者の[illegible]ると[illegible]でも知つて居る所である△鎌倉の東慶寺に隱棲の時にも兄ての式日に[illegible]三時に起きて[illegible]も[illegible]で精勵を踏んで一[illegible]の世に依つて[illegible]ことが出來るであらう

◉取立金で豪遊 七百圓の橫領

長崎縣南高來郡島原町生れの大賀三郎(二十)は京城南山町三丁目の某富豪方に雇はれ家屋の整理及び家賃取立の事を擔當中八月二十三日本町二丁目十五原來居外一十一軒より集金したる家賃約七百圓を橫領し尙外一箇所よりも三百圓を詐取し龍山彌生遊廓彌生樓にて豪遊消費し罪科の發覺を恐れ滿洲方面に逐電せんとしたる際本町署の刑事に探知され引致取調中なり

◉流行指定地

慶南道警務部にては十一日左記の地方を虎列剌病流行區指定地とし今後同指定地及び同地を經由し來る旅客に對し別項記載の如く海港檢疫[illegible]調べの上檢疫局へ送る

及び列車中にて行先を地問ひ必要ありと認むる場合には停留を命じ健康診斷及び便の檢査を爲すべしと

▲富山縣高岡市、同射水郡同新川村▲群馬縣高崎市▲石川縣鳳至郡以上一圓

◇佛蘭西へ

……(武富書記官夫妻)

外務省通商局から駐佛大使館書記官に轉じた武富敏彥氏は安達公使と共に赴任の途次朝鮮ホテルに投じた氏は前の遞信大臣武富時敏氏の長男、美しい功子夫人は又安達公使の長女である十一日の午過朝鮮ホテルに刺を通ずれば桃色の上衣に花の如き夫人と共に快よくレンズの前に起ちて前任地の墨西哥について語る『私は明治四十四年から大正四年迄四ケ年間をメキシコ市に暮しました墨國は熱帶の國ですが首都は海拔七千四百尺の高地に在ますのでいつも暖く常春の國ともいふべきであります、しかし三千尺以下の低地にありますと可なり住み惡くなります、朝鮮人の八百人ばかり居る大西洋岸のユカタン地方は低い地方で熱い所です、鮮人の移民は主としてケネケンと稱する麻のやうな纖維をとる勞働に從事して居りますが、元來墨國人は土人の血に西班牙人の血が混つて居りますから容貌はよく日本人に似て居ります、それで日本人を懷しがつて親切にしてくれます、むかし伊達政宗の羅馬への使者が此の國へ漂着したとも言ひますがこの上にのこつて居りますが、古蹟も多く言語も日本語と同一です、それに田舍の風光も島渡り日本內地を見るやうです』首都のメキシコ市は歐洲の都會にも劣らぬ綺麗な都で地方都にはピラミッド等もあるやうなれば三千里四方もある廣闊な地にはシャトウとなる貴族のやうな富豪がいよ〳〵城のやうなものを造りその周圍に小作人が耕作して居ります……』

◉宗演師と愛婦會

愛國婦人會朝鮮本部にては別記の如く十四日午前九時半より南山本願寺に於て入京中なる鎌倉圓覺寺派管長釋宗演老師を請じ修養講話會を開催す一般婦人の參聽隨意なり

◉平北の熊狩り

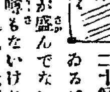
平北厚昌郡東新面杜若里南新面佳山里の兩地にて八月十七十八日の兩日農民が掛けたる罠に依りて各一頭宛の大熊を捕獲したり又八月二十三日楚山郡古面大水洞獐項谷に於て申希完といふ特別狩獵者は一頭の大熊を射止たりと

◉詐取して豪遊

廣島生れ福本儀事福本茂一(三七)は此れまで京城廣文支社の雜誌販賣として去る七月六日京城より平壤に流れ來り六十餘名に對して民法要義及び模範新鮮典などの本を賣り付け本代は支社に送らずして直ちに賑町に浮かれ若松樓の娼妓辰巳や長崎樓の小千代などに注ぎ込みて三十餘圓を費消し若松樓の辰巳より指輪著物等二十五圓を捲き上げ尙泉町の某より三百圓を借り受けて相變らず若松樓長崎樓等にて豪遊中平壤署の手に檢擧さる

◉氣の毒なる一家へ 本月十日夕刊所載石川與三郎一家へ其後の同情金▲五圓也京城婦人會▲二圓及び子供衣類四點旭町二丁目足立氏

◉日蓮宗護國寺(旭町三丁目)十二日午後八時より親睦會兼ねて說教佛教の因果の理法井上璋山師十三日午前九時より日蓮宗婦人會創立滿七年記念野外說教あり



內地では職工の景氣が莫迦によくて一日二十圓もとるものがゐると云ふ▲朝鮮はまだ工業が盛んでないため、そんな間抜けた噂もないけれども兼二浦三菱製鐵所鎔鑛爐の白煉瓦捲きは昨今工程を急ぐため百十名の職工が朝は暗い內から夜は星を戴いて歸る的に働らいてゐる▲それは八幡の製鐵所から態々雇はれて來たらしく一日の所得が四圓から六圓と云ふ所で、一寸した高等官程の給料をとる▲何しろ其の類の者が多いから、兼二浦の飲食店の賑やかさは格別らしい▲製鐵所では朝鮮人人夫も盛んに使つてゐるが給料も安く五十錢から七十錢を與へてゐるさうな▲製鐵所の當局は內地人だと職工も經驗がなくつて來ても使へぬが、鮮人ならいかほど入つて來ても使用場所はあると云つてゐる▲何しろ同製鐵所は鐵石採掘方まで入れると五千人近くの內鮮人を使役するらしい

群山[illegible]……要……にては米穀九千二百十……二圓重石鑛四萬圓牛皮六千九百十四……一萬〇三百三十……生シーチング三萬四千六百五十……日本木綿八千八百九十三圓セメント……燐寸マッチ六千九百……の輸移出總額十五萬三千五百……

……所に決定したる由にて準備著々進……捗し居れりと

……ろが犯人は元同寺に在りし破戒僧の所爲ならんとの嫌疑にて目下嚴探中(群山電話)

電話開通 長一五四六番 京城北米倉町 古金物商 有好商店

ホシセプチン 皮膚病藥 定價十錢 いんきん、たむし、しつ、ひぜん、田虫、しらくも 各地牧約店藥店にあり 東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社

ヨクキク ホシ下痢止 急慢性下痢 胃腸カタル 吐瀉 疝腹 定價 十錢 廿錢 各地特約店藥店にあり 東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社

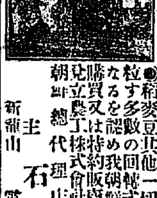
大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替京城二〇七三番

入札拂下公告 古軌條及附屬品外參品公賣ス詳細ハ九月八日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 大正六年九月 木浦府

最新刊
◉日記から和譯英語 アートスミス 各八〇
◉徹底禪 釋孝道 九〇
◉默仙禪話 日置默仙 一、二〇
◉禪窓閑話 菅原時保 九〇
◉宗演禪話 釋宗演著 定價九十錢
◉婦人文庫娛樂の卷 齋藤恭山 一、〇〇
◉五人女 前田香果 六〇
◉朝鮮語法及會話書 朝鮮總督府編纂 三〇
◉朝鮮語官話受驗提要 安藤大藏編著 四〇
◉日鮮雙解會話要語 丁泰鎭著 五五

購買 大麥 龍山陸軍倉庫 詳細ハ九月拾貳日以降朝鮮官報ニアリ

風車五反稻麥扱機 新大日本六年式 特許改良 一式



◉稻麥豆其他一切の穀類を美事に脫粒す多數の回轉式稻扱中の最優良品なるを認め我朝鮮の農家に推奨す購買又は特約販賣店希望者は御申込 兒玉農工株式會社 朝鮮總代理店 新龍山 主 石原磯次郎 石原商會 電話(龍山)七一六番

玩具卸商 織田東洋館 京城本町一丁目 電話二六九・八番 振替京城二五六七番 薄利多賣荷迅速は弊店の特色

赤玉ポートワイン

「赤玉ポートワイン」は健胃、補血、興奮、强壯の効顯著なる葡萄酒なる事は既に七大醫學博士の賞讃と證明せらるゝ所にして今や各大醫の藥局に於て滋養劑として賞用されつゝあり、其味美味なるに依り婦人小兒の口にも適する美味滋養の葡萄酒なり

七大博士の賞讃と證明を有す

櫻御殿

第十三回　大阪　霞の家主人

戀爭ひ（四）

正則がその子備後守正之と共に東海道を進んで、清洲の城へ歸つたのは、八月八日であつた、舍弟掃部頭正頼は伊勢長島の城へ歸つて、彼方からする上方の軍に備へた、續いて井伊直政が來る、酒井忠勝が來る、先登の關東軍は悉く清洲の城に集つた、それから五里近くを北して木曾川を超ゆれば、早や敵の勢力範圍である、木曾川から岐阜の城まで三里には足らぬ平野である、諸將はこゝで家康の來着を待つた

正則ばかりでは無く、腹心の井伊木多までが、先發の諸隊に續いて、家康は江戸を出發するものと思つて居た、處が事實はさうで無い、他の將卒は斷續して到着するが、家康の沙汰は聞えなかつた、清洲の城は正則の勢力に由つて、誰一人指をさす者はないが、そこから程遠からぬ犬山の城には、上方々の石川備前守貞清が數千の兵をもつて籠り、竹ケ鼻の城は杉浦五郎衛門が家老毛利掃部を守らせる、その上岐阜からは時々間諜が遣つて來る、大垣の城には伊藤彦兵衛盛正が居て、石田三成を迎へやうとする樣が見ゐる

清洲の城中は氣が氣でない

恰ど八月十五日の夜であつた、一年のさやけさをその夜一夜に集めるほど清い滿月が東の猿投山から出る

正則は奥殿の高樓に酒を催いて二三の近侍と共に觀月の宴を開く、來ると云つた家康が遣つて來ぬので、滿腔の不平が吐息となつて出る

『清之亟無いか』

月が中天に昇つた頃、正則は思ひ出したように訊ねた、人目を憚ることでもあるらしく、八日城に歸つてから、その夜まで故意と清之亟に逢ふのを避けた

近習の一人が答へると

『御詰所に居りまする』

『すぐ召せ』と徐に云ふ

清之亟は程無く出仕する、皆の手前、何氣無くはして居るが、その目に深い意味が閃めく

『近う』と正則は云ふ、清之亟は前へ出る

『盃取らせる』

近習は三寶の盃をさし出す、清之亟は恭しく取る、とたんに奥女中の手ずさみらしい琴の音が、美知姫の部屋の方で起る

『あの琴、止めへ』

正則はきつと云ふ、殿の御機嫌宜しからずと見て取つて、近習はばら／＼と駈けて出る、後には十二三の小々姓のみが殘る

『清之亟』と再び呼んで『上方の模樣何んとあつた』

『さればでござります、金吾中納言樣仰せ、關の聲を合圖にして、直ちに軍の鋒頭を向け直し申さうと……』

『關の聲、關の聲』と口の中に繰り返して

『諾し、餘事を申すな、それにて萬事を推量る、但し此方の關の聲か』

『御意、御味方の……』

『解つた／＼』とその上を詳しう聞かず、滿面に笑を見せて『此の合戰江戸黄門殿御勝利ぢや』

『疑ひも無う……』

『地を打つ槌は外るゝとも、我等推量は外れぬ、今夜は過せ』

『其にて手前も安堵しまする、今度の合戰御勝利無いに於ては、清之亟一分の立たぬ事がござります』

『それも聞かぬ』と正則は前にある盃の滿を引いて『琴の調べ、姫めと申せ』

小々姓はその旨を傳へるべく坐を起つた、正則は腰に提げた印籠を取り上げて

『當座の褒美ぢや』と投げ與へる

清之亟は面目身にあまつて押し戴く、皓々たる月輪、それが大盃の酒に映る、正則はその月の光りと共に飲んで

『さて面白や、腹の底まで透き通る、清之亟、下物致せ』

清之亟は立ち上つて望月を舞ひ出す、一たん絶えた琴の音が、また奥殿から聞えて來る

日報俳壇

紫陽花

朝月に紫陽花の夢今覺めし　花翁
紫陽花に迫る暮色や屋敷跡　同
紫陽花や大雨に濡れし土塀の色　同
叱られて紫陽花見るお兒に夕明り　同

胡瓜

蟲や[illegible]めて跡のしぶる胡瓜哉　琦好
ポプラ伸びて胡瓜育たぬ官舍哉　同
胡瓜畑に映す黒雲の影　汀幽

茄子

新漬の茄子や皿を染むる色　同

涼し

養生に草を踏む朝は涼し　亭午

蛇狀子

三脚架据らぬ丘や蛇狀子　山紫坊
挨る戸に抹待ち居るや蛇狀子　同

釣葱

朝晴れの葱に淵の微風かな　同

日盛

日盛の潮黒々と漲れる　琦好
日盛の渠疲さりし河口かな　同
朦朧に瞳暗さよ日の盛り　同

汗

宿に着きて汗の顏先づ洗ひけり　一柳

時鳥

夜氣に閉ざす滑な戸や時鳥　想仙

心太

醜小犬が來るなり心太　同
馬に鞍置く見て起つや心太　同

■同春園句會

悲かの思ひ立ちに九月八日午後二時より同春園に集る者鳥兎・珙城・森堂（坂田）・鈍堂（岡本）・露軒の五人、雨霽れの園は松の木の間に透く鮮やかな日射し、微風に揺らぐ萩・芙蓉の色、閑寂の杜をそゝる虫の聲等に新秋の爽氣が漲つて居た、題は課題路二句以上、即日三句、外に秋季雜題隨意の句作を總へ五題の後相互に研究的批評を試みたのは頗る振つてゐた、晩餐を共にし清興裡に散會したのは午後九時頃であつた（其夜幹事記）

○露

白露や桔梗老ひ行く庭の隅　鳥兎
露重し風少し吹く萩の上　森堂
下草の露に濡れたる草履かな　同
芒長し風に露散る石の上　同
白露の庭踏むあちらこちら哉　靜軒

○即日

かけ渡す蛛蜘の圍樹々の秋日影　鳥兎
かち鳥萩少し咲て暗き窓　同
森かげや掩まゝなる栗鼠の秋　同
日は強く乙女の萩に日傘して　蓬城
庭靜かに苦吟の人の萩に對す　同
秋風の古き瓦や草荒るゝ　森堂
崩れたる土塀や秋の草長し　同
栗鼠飛ぶや園栗落ちて響あり　桂堂
萩を前に苦吟默坐の五人哉　同
草の實や出水に浸たる石磊　靜軒
風折／＼桂に亂るゝ靈萩哉　同

○秋雜詠

涼新た雨後の山見ゆ町はづれ　鳥兎
秋風や温突の石運び來る　蓬城
花野遠し河原を舟へ渉る人　森堂
境内は石敷荒れて萩の花　同人
姪病むと文便りや秋の風　桂堂
しきり鳴く秋蟬杜の暮早し　靜軒

新刊紹介

▲ホトヽギス（二〇の一二）評者は冒頭の漱石氏と私の一篇を讀んで今更ら乍ら無限の感慨に打れたのである、ソレは彼の有名な漱石氏の處女作として初めて世に紹介されて漱石氏の文名が俄かに高まつた事の記憶を呼び起したからである、而かも此の一篇は雑誌經營の内情を赤裸々に告白した三十二頁の長篇で而かも文學的なるのみ物であらうと思ふ、其他の小品、俳文、俳句等の興味ある[illegible]（二十七錢東京牛込市ヶ谷[illegible]ほとゝぎす發行所）

▲婦人週報（三の三六）一部四錢五厘（東京牛込市ヶ谷田町二ノ十七共社）

▲帝國繪畫新報（六の九）一部六錢五厘（東京谷中清水町十七帝國繪畫協會）

讀者の領分

▲堂々たる看板掲げ乍ら三四圓位で鮮童の如く店員を冷遇してる店がある、物價騰貴の今日我等の相場もそう安價なものでもあるまい、いくら儲けないといつても月々大分にのこして行くのだから一寸位ほどこして貰へんとふても二三圓だ、若い者は小使もいるから寒くなる方だメリヤス一著買ふから心當りの店主の反省を求む（馬鹿正直生）▲近頃降雨に連れ市内馬道の路面排水穴に土砂流入するを以て人夫等は之を掃除するは至極結構なれ共其盃を爲すを怠り或は盃の半丈は蔽ひあるものあり、此上を通行せむとするは不都合なるも甚しと爲し置は危險也御注意を乞ふ（六探生）▲フランス教會の前（元小宮次官々舍跡）に活動寫眞館の樣なものを新築して居ますが何時頃から興業しますか早く興業してほしい（坂上の人）▲廣橋傍の人民は雨の降る度に水が出はしないか又は出た後の不潔に付て常に頭を痛めて苦しんでるのに當局者は御存じないのかしらん（廣橋生）▲東大門小學校は當局の無論京城の發展を豫期して、あの廣い野ッ原の子供に取つては沙漠の樣に思ふ處に唯だ一軒尨大な建物をしたのでせうが、七八ツの一年生は雨に風に暑に寒に到底堪へ得るものではない、嘘と思へば雨の日に行つて親しく見てやつて下さい、傘を取られ下駄を失ひ濁水の中を徨つてゐるあの可憐の姿を（十年尚早生）

商況

下關期米特電　十一日後場（定期）[illegible]

大阪期米特電　▲後場高限寄付二十圓九十九錢▲中限寄付二十一圓〆一錢▲先限寄付二十四圓八十八錢

仁川期米

▲殆んど焦付　[illegible]が戻りは支拂物多く四段と辷りて踊かず大阪止九十五錢と高持り反撥したるも前場かず四五錢を挟み合五錢と低[illegible]の位取合　天候朝來陰惡なりしも風位西に變じたるより風力衰ろへ一時晴れたる[illegible]

▲天候無事　[illegible]の注目を惹いたり[illegible]の取組は比較的漸減の趨勢となり今前場の根入にて當限四千六百五十石中限七萬千石と減じ先限は六萬千六百五十石と増加したり　[illegible]別段異氣なく保合を唱へ居れり

十一日の十一月限

寄付	十七圓二十五錢
後止	十七圓[illegible]
前場	十七圓[illegible]

賣買出來高　四千六百五十石／七萬五千石／六萬千六百五十石

●解報　九月十一日午後九時三[illegible]

子宮病血の道と神疝湯　リウマチスに惱む人は

彼是と迷ふ無く

最も能く効く良藥神疝湯を試みよ現に百方手を盡しも効なき難症の●血の道●ヒステリー●や、多年不治の年來の子宮病を始め胸痛、神經痛の方々が神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒した嬉しき除の禮狀（現在保存）一般の閲覽に供す、[illegible]實に例も鮮からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば症の論なく神疝湯は即刻試みよ家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

●こんな徴候ある方は

胸、腹、腰、膝、手、足、肩、つり、腫、しびれ、又は痛む 筋つり、眼痛、移動し、何處となく彼此痛む ●腹張り、●差込、●胸つかえ、●食進まず又は逆上、●便秘又は下痢 ●寒氣、●眩暈、●耳鳴、●頭痛、●肩凝、●痛、歯痛、●耳鳴、●頭重く 足冷に●夜眠られず ●根氣薄らぎ記憶衰ふ ●氣鬱、物事に厭き易く ●頭痛、手足のだるき ●子宮病、血の道及び神經痛 リウマチス、神經痛よりの起る徴候に惱む人は時も早く神疝湯を試みよ

藥價　半斤二十錢　一ケ月一圓四十錢

本舖　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎

電話長 井七四番　振替口座　東京一三四〇番　大阪二九五五番

日英米獨政府專賣特許

說明書　呈郵券二錢

かつけ新藥アンチベリベリンを服せざれば

陸軍一等軍醫正 ドクトル　都築甚之助氏發見

望まざるかつけ患者なり　かつけ治癒を

到る處の藥店にあり

發賣元　東京市麻布區笄町　南信堂藥局

目藥アドラ

瓶は小くもキヽメは一等

アドラ目藥は工學博士醫學博士高峰先生發見の世界的眼科特效藥アドレナリンを主藥とす どんな眼病にも不思議な程よくきく

全國藥店にあり

小十錢　大廿五錢

東京室町　泰昌製藥株式會社

●麻病梅毒及衰弱性患者　諸君一讀の勞を惜むなかれ

新劑の發見と藥味の改善は吾社の生命

內務省衛生試驗所長藥學博士 平山松治先生／帝國醫科大學病院長醫學博士 伊藤隼三先生／大阪醫科大學校長醫學博士 佐多愛彦先生／赤十字社病院長醫學博士 永野純三先生／同 內科醫長醫學博士 前田松苗先生／緒方病院長醫學博士 緒方正清先生

等を始め東西各醫藥學大家の分析御報告及御賞讚を得たる（獨乙製舶來へモクロビンに勝る事數等なりとして世界の學者の驚嘆に値する）血液元素オーソールを始めとし

りん病ばい毒藥の各種

は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね學理に諮ひ實見に徵し幾多貴重の犧牲を拂ひ漸くにして成功せるものゝみなり而も尚日に月に刻一刻駸々乎として止まざる學理の進歩に鑑み吾社試驗部に於ては常に世界最新の學說を漁り絶へず藥味の改善に新劑の發見に努めつゝあり

無効返金　百圓進呈

麻病全治藥　特製 參圓／普通 貳圓／（壹週間分）小包送費 拾貳錢

梅毒全治藥　特製 貳圓／普通 壹圓廿錢／（壹週間分）小包送費 拾貳錢　代金引換小包は送費廿一錢

右新劑麻病藥は治麻劑として徹毒藥は驅黴內服藥として方今世界の醫學士藥學士諸氏の有効と確認せらるゝ都京の「九州帝國醫科大學病院」等に於て卓絶せる効力有りと賞揚配劑せられつゝあり衛生る事を保證す（但し素人驅しの出鱈目に非ずして斯界の學士、博士の前に断言する高貴藥を主とし即ち藥として製し分析の結果前述の證言に遵ふあるを發見せらる）時は分析料として金百圓を進呈す。

●あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ根治法を翌節

●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信券添付の事。

右廣告記事に就て御質問せらるゝ方には詳細に回答して事實を明らかにす 賢明なる讀者諸君は一言半句と雖も嘘なし偽なし「彼の幾多無術の妄說を掲げて得たる山師的誇大の廣告の文字無き物は僞物に付御買取りの際御注意を乞ふ。近來各地に僞ドラッグ有り藥品の表票に「有田製」ドラッグ商會印無きは

大阪本舗

花柳病專門藥房　ドラッグ商會　滿鮮本部

京城南大門外停車場通り

電話長二五六七番　振替口座京城四六七番

支店　●釜山大廳町二丁目●元山本町三丁目

大阪商船仁川出帆

（航路表、九月各日、仁川・木浦・鎭南浦・大連・神戸・大阪・長崎・上海・天津・安東・西湖津・元山・城津・清津方面、各後二時出帆等）[illegible]

仁川代理店 大阪商船會社 仁川支店 電話五五八番／京城支店 電話[illegible]

日本郵船仁川出帆

大連行 相模丸 九月十八日／高砂丸 九月廿九日／三河丸 九月十二日　太沽（天津）牛莊行　正午出帆

郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆

大阪行 大湖丸 九月十七日 後四時出帆／○大和丸 九月[illegible] 四時出帆

高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

關門より釜山各港經由雄基行 ／ 京畿丸 九月廿三日／忠清丸 九月廿九日／咸鏡丸 九月十八日／平安丸 九月十四日　釜山發

元山より各地經由雄基行 ／ 咸鏡丸 九月十五日／江原丸 九月[illegible]／平安丸 九月十七日　元山發

（以下、元山發・釜山發・木浦發・仁川發の各航路　九月各日）[illegible]

本社 京城 電話一九五二番・二一三番